

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教 科： 国語 科 目： 論理国語 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 2 学年 A 組～ E 組
教科担当者：
使用教科書：（ 2 東書 論国 7 0 1 ）
教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 文章を正確に理解し、語彙力や文法の知識を駆使して、論理的な文章を構築する能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 文章に対して批判的・創造的に思考し、論理的に自分の意見を表現する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学び、他者との協同作業や意見交換を通じて、社会で必要とされるコミュニケーション能力や感受性を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、資格取得を含め自らの学習課題を見だし、取り組む。 ・明確な自身の考えを表現し、周囲の意見を取り入れて、新たな考えを創造することができる。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元1 I 部 1 広がる風景 「対話とは何か」（細川英雄） 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に筆者が述べる「おしゃべり」と「対話」の違いを捉え、自分の生活におけるコミュニケーションのあり方を振り返ることができる。	・「おしゃべり」と「対話」の違いに注意しながら本文を通読する。 ・本文で使われている接続表現を挙げ、その性質や働きについて学ぶ。 ・対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。 ・筆者の主張する対話がなぜ必要なのか、自分たちの生活と照らし合わせてグループで話し合う。	【知識・技能】 接続表現に着目して、本文の内容を整理することができる。 【思考・判断・表現】 「おしゃべり」と「対話」の違いを理解した上で、筆者の「対話」の定義を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 「対話」がなぜ必要であるのか、日常生活においてどのような場面で「対話」と「おしゃべり」を使い分けしているか振り返ることができる。	○	○	○	7
単元2 ■論理の力を鍛えよう 【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで演繹的な推論について理解し、学習課題に沿って広い意味での「論理」における言葉の関連性や文章構造について捉えようとしている。	・「論理（的）」「推論」「演繹」「帰納」の語句の意味を理解する。 ・主張と論拠、情報と情報との関係を理解する。 ・広義の「論理」と照らし合わせて取りあげられている記事の論理性を検討する。 ・書かれている内容を理解し、論理的に考えることの意義を知る。	【知識・技能】 重要度や抽象度によって情報を整理する方法を使い分けることができる。 【思考・判断・表現】 文章や資料の妥当性や信頼性を吟味し、論拠の妥当性を検討することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 「論理」の狭義と広義の違いを理解した上で、広義の「論理」に基づいて文章を理解しようとしている。	○	○	○	6
単元3 定期考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1

1 学 期	単元4 2 考える手がかり 『少女たちの『ひろしま』』 (梯久美子) 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者独自の「視点」を理解し、今までの学習を生かして戦時下の人々の日常と自分との接点について、考えを深めようとしている。	・三つに分かれたそれぞれの部分の話題に注意しながら、本文を通読する。 ・筆者が美しいと感じた石内都の写真集の特徴と「洋服たち」に対する視点を捉える。 ・被爆死した女性たちと筆者をつなぐ「回路」の意味を捉える。 ・戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養う。	【知識・技能】 三つに分かれた話題の関連性を説明することができる。 【思考・判断・表現】 筆者の感性や「洋服」という視点から戦争を捉える独自性について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者が用いる「回路」の意味を理解した上で、戦時下の人々と自分の接点について考えることができる。	○	○	○	8
	単元5 2 考える手がかり 「資料を整理し、テーマを吟味しよう」 【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にレポートを書くための資料の収集・整理の方法を理解し、学習の見通しをもって収集した論点を整理してテーマを見直し、適切なテーマを設定しようとしている。	・資料を集めてさまざまな観点から整理し、テーマを吟味する。 ・新聞やテレビなどから興味・関心のある社会的な問題を書きだし、仮テーマを決める。 ・仮テーマに沿って図書館やタブレット等を活用して資料を探す。 ・資料に基づき仮テーマを見直し、テーマの妥当性について検討する。	【知識・技能】 タブレット等を用いて、必要な資料を集めることができる。 【思考・判断・表現】 自分の主張を論理的に展開するために必要な資料を集めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 タブレットやワークシート等を活用して収集した情報を整理し、テーマを見直したうえで適切に設定することができる。	○	○	○	8
	単元6 定期考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元7 3 人間と知性 「学ぶことと人間の知恵」 (広中平祐) 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に論理の展開を捉えて筆者の考えを理解し、今までの学習を生かして人間の思考や学ぶことの意義について、コンピューターと比較することによって筆者の意図と自分の考えを整理し、話し合おうとしている。	・「コンピューター」と「人間」の違いに注意しながら本文を通読する。 ・人間特有の能力の長所と短所を読み取り、確認する。 ・学ぶことの意義における筆者の主張のまとめを読み取る。 ・自分なりに学ぶことの意義について考え、班で意見を共有する。	【知識・技能】 本文を通読し、分からない語句の意味を調べることができる。 【思考・判断・表現】 学ぶことの意義における筆者の主張を理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の主張を理解した上で、自分なりに学ぶことの意義について考え、意見を交わすことができる。	○	○	○	8
	単元8 3 人間と知性 「ラップトップ抱えた『石器人』」 (長谷川眞理子) 【知識及び技能】 情報と情報の関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の読み比べ方を学び、複数の文章を比較して考えを深める。	・題名に込められた筆者の思いや、事例と主張に着目しながら、本文を通読する。 ・「脳の進化」と「文明の発展」について筆者の考えを読み取る。 ・「文章を読み比べるために」を読んで、文章を比較する観点を理解する。 ・文章を読み比べて、違いを明らかにした上で、自分の考えをまとめる。	【知識・技能】 本文で述べられている情報を接続詞や文章構成に基づいて整理することができる。 【思考・判断・表現】 人間の思考や脳の働きについて、自分の知識や体験などと関連付けて考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章を比較する観点を理解し、「学ぶことと人間の知恵」と「ラップトップ抱えた『石器人』」で述べられている「脳の働き」の違いについて明らかにしようとしている。	○	○	○	5

2 学 期	単元9 定期考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元10 4 現実の中で 「思考の肺活量」（鷺田清一） 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者の述べる思考の在り方について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解している。	・論の展開に注意しながら、本文を通読する。 ・「思考」のために必要な「肺活量」とはどういうものか理解する。 ・第二段落における三つの例示について理解する。 ・筆者が主張する「思考」において「だいじなこと」を理解する。	【知識・技能】 学習課題に沿って積極的に本文中の語句や表現について考えることができる。 【思考・判断・表現】 筆者の主張する「分からないまま正確に対処すること」を三つの具体例をもとに理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く比喩によって表現された筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って筆者の述べる「思考」のあるべき姿について理解を深めている。	○	○	○	8
	単元11 4 現実の中で 「仮説を立てて検証しよう」 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 【学びに向かう力、人間性等】 仮説を立てて検証し、検証過程を文章にまとめようとしている。	・課題を一つ選び、タブレット等を活用して背景と傾向を分析した上で仮説を立てる。 ・仮説を検証するための情報を図書館やタブレットを活用して収集し、その情報に基づいて仮説の妥当性を検証する。 ・検証の過程を文章にまとめるため、構成を考え、メモを作成する。 ・メモに基づいて下書きを作成し、的確に伝わる文章であるかを見直し、推敲を重ねる。	【知識・技能】 文章の構成や展開を工夫して、書き手に的確に伝わるような文章を書くことができる。 【思考・判断・表現】 下書きを推敲して多面的・多角的な視点から自分の主張を見直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に仮説を立てて検証する方法を理解し、学習の見通しをもって情報を収集・整理し、分析することによって仮説の妥当性を判断し、検証の過程を文章にまとめようとしている。	○	○	○	6
3 学 期	単元12 定期考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元13 5 ものの見方 「複数の『わたし』」（松村圭一郎） 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 文章に示された考え方を手掛かりに、「わたし」の捉え方について理解を深める。	・題名の意味に注意して、本文を通読する。 ・「近代の個人主義的な人間観」とはどのようなものか読み取ろう。 ・小説家「平野啓一郎」が主張する「分人」の概念について理解する。 ・タブレットや図書館を活用して、「自己」の捉え方の変遷について調べる。	【知識・技能】 接続表現や指示語に着目して、その働きを理解することができる。 【思考・判断・表現】 本文で用いられている「パプアニューギニアの事例」や「分人の例」がどのように筆者の主張を支えているのか理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く筆者の挙げる考え方や事例が示すことを読み取り、「わたし」に対する見方を広げようとしている。	○	○	○	9
	単元14 定期考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
							合計
							70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教 科： 地理歴史 科 目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書： （ 実教出版 『歴史総合』 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 歴史的事象や地理的現象を正確に理解し、それに基づいた知識を活用する能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事実や地理的データを分析し、自分の見解を論理的に整理して表現する力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 自ら学ぶ姿勢を持ち、歴史や地理を通じて社会や文化の多様性に対する理解と共感を深める。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近代以降の日本と世界の歴史について、主要な出来事や背景、用語を理解し、図表や史料などの資料を正しく読み取ることができる。	歴史的な見方をもとに、出来事の因果関係や背景を多面的に考察し、自分の考えを筋道立てて説明することができる。	歴史を学ぶ意義を理解し、現代社会とのつながりを考えながら、主体的に学び、多様な価値観を尊重する態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1 近代化への胎動① 【知識及び技能】 東アジアとヨーロッパの17世紀以前 の国際関係、明清交替と江戸時代の 経済・流通の基礎を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 アジアとヨーロッパの発展や対外 進出の違いから、地域ごとの歴史の 展開を比較・考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 近世の日本やアジアの在り方に関心 を持ち、自らの視点で歴史を探究し ようとしている。	明清交替と東アジアの国際秩序 江戸時代の経済発展と流通構造 幕政改革の意図と影響	【知識・技能】 近世のアジアや日本の政治・経済的 な動きを理解している。 【思考・判断・表現】 近代化の前提となる諸要因を資料か ら説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジアや日本の動きに関心を持ち、 意欲的に学習している。	○	○	○	4
	単元2 近代化への胎動② 中間考查 【知識及び技能】 江戸幕府の諸改革と対外関係、琉球・ 蝦夷地の位置づけなどを理解してい る。 【思考力、判断力、表現力等】 幕政改革や「鎖国」の実態を複数の 観点から考察し、日本の近代化への 前提条件を整理できる。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な歴史的立場を理解し、地域性 や国際性を意識して学ぼうとしてい る。	幕政の改革と財政難への対応 日本の国際関係と「鎖国」体制の実 態	【知識・技能】 幕政改革や日本の外交姿勢を理解し ている。 【思考・判断・表現】 「鎖国」や周辺地域との関係を多面 的に説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の近代化の前提に関心を持ち、 探究しようとしている。	○	○	○	2
	単元3 「西洋の衝撃」と市民革命① 【知識及び技能】 イギリス産業革命、アメリカ独立戦 争、フランス革命など、西洋の政治・ 社会の変化を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 市民革命の理念とその影響を時系列 や因果関係に基づいて整理・説明で きる。 【学びに向かう力、人間性等】 自由・平等などの価値観に触れ、歴 史を通じて現代社会の基盤に関心を 持っている。	イギリス産業革命と市民社会の形成 アメリカ独立と共和主義の広がり フランス革命とウィーン体制	【知識・技能】 市民革命の主な出来事や理念を理解 している。 【思考・判断・表現】 市民革命の背景や影響を資料を使っ て説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自由や権利の歴史的意義に関心を持 ち、自ら考えようとしている。	○	○	○	6

2 学 期	単元4 「西洋の衝撃」と日本の変容② 期末考査 【知識及び技能】 アジア諸地域の動揺、日本の開国と幕府の崩壊、帝国主義の広がりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「西洋の衝撃」が東アジアに与えた影響を多面的にとらえ、日本の対応とその結果を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバルな視点で日本の変化を見つめ、歴史の中にある選択や葛藤に関心を持っている。	アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカ独立 オスマン帝国・ロシア・イスラーム世界の変化 アヘン戦争と日本の開国、幕府の崩壊 19世紀の外交と日米交渉	【知識・技能】 西洋の拡大と日本・アジアの対応を理解している。 【思考・判断・表現】 西洋の衝撃による変化を多面的に捉えて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史の中での選択や交渉に関心を持ち、考えようとしている。	○	○	○	8
	単元5 国民国家形成と明治政府の改革① 【知識及び技能】 欧米諸国の統一や近代化、日本の明治初期の改革と「文明開化」について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 各国の国民国家形成のプロセスと日本の近代化の特徴を比較し、説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 政治・社会体制の変化とそこに関わる人々に関心を持ち、自らの視点で学ぼうとしている。	イギリス・フランスの発展とイタリア・ドイツの統一 明治政府の諸改革と集権体制の確立 文明開化とその光と影	【知識・技能】 欧米諸国と日本の改革や制度の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 近代化の意味や影響を他国と比較しながら説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家の成立やその課題に関心を持ち、探究しようとしている。	○	○	○	7
	単元6 日本の外交と立憲国家の成立② 【知識及び技能】 明治期の外交と国境画定、自由民権運動、大日本帝国憲法の成立を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 立憲国家形成のプロセスや国内外の課題を整理し、資料に基づいて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の近代国家化における国民の意識と参加に注目し、その意義を考えようとしている。	日本のアジア外交と国境問題 自由民権運動の展開と民衆の声 大日本帝国憲法の制定と立憲体制 国民国家形成と国民の位置づけ	【知識・技能】 明治期の外交と憲法制定に関する出来事を理解している。 【思考・判断・表現】 政治制度の成立と国民の関わりを多面的に説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代国家と国民の関係に関心を持ち、自分の意見を持とうとしている。	○	○	○	7
	単元7 帝国主義と国際関係の変化 中間考査 【知識及び技能】 帝国主義の進展、日本の対外戦争（主に日清・日露）と東アジアの国際関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 列強の拡大と日本の対外政策を比較し、戦争の背景や影響を因果関係をもとに説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 力による支配や外交のあり方に疑問を持ち、歴史的な視点から国際問題を考えようとしている。	帝国主義の成立と列強の拡大 朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 三国干渉と日本の対応 日露戦争と国際秩序の変化	【知識・技能】 帝国主義時代の国際関係と日本の行動を理解している。 【思考・判断・表現】 列強の外交・軍事行動とその影響を論理的に説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史を通じて国際関係のあり方に関心を持っている。	○	○	○	7
	単元8 日本の近代化とその社会的影響 【知識及び技能】 日本の産業革命、社会の変化、ナショナリズムの形成とその課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 経済発展と社会変化の関係を分析し、発展の代償や矛盾を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史の中で見えにくい立場の人々に目を向け、多様な視点から学ぼうとしている。	日本の産業革命と経済構造の変化 都市化・労働問題と社会運動 ナショナリズムの浸透と帝国の形成 外国人の視点から見た日本	【知識・技能】 経済成長と社会の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 発展と矛盾の両面から歴史をとらえ、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな立場の視点から歴史を学ぼうとしている。	○	○	○	7
	単元9 第一次世界大戦と大衆社会 期末考査 【知識及び技能】 第一次世界大戦、ロシア革命、戦後の国際秩序と民族運動、大衆社会の出現を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 戦争が社会や人々の意識に与えた影響を多面的に捉え、社会の変化を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 戦争や社会運動の背景にある人々の声や暮らしに目を向け、自分ごととして考えようとしている。	第一次世界大戦の原因と展開 ロシア革命とソ連の成立 民族運動とアジアの動向 社会運動の広がりと普通選挙の実現	【知識・技能】 戦争・革命・大衆社会の成立過程を理解している。 【思考・判断・表現】 戦争が社会や人々に与えた影響を資料から考察・説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の変化を当事者の立場から理解しようとしている。	○	○	○	7

[illegible]

2 学 期	単元5 ・独立な試行とその確率 ・反復試行とその確率 ・条件付き確率 【知識及び技能】 独立な確率や反復試行の確率の基本要素を理解し、基本的な問題を解けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 独立な確率や反復試行の確率の考えを用いて問題を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 独立な確率や反復試行の確率の考えを身の回りの問題に活用しようとしている。	・乗法定理を用いて積事象の確率を求めることができるようにする。 ・反復試行の確率を求める際に、Cを用いて効率よく計算できるようにする。 ・独立な試行の意味を理解し、その確率を求めることができるようにする。 ・期待値の有用性を理解し、求めることができる。	【知識・技能】 独立な試行と反復試行の特徴を理解し確率が求められる。条件付き確率の意味を理解し確率を求める。 【思考・判断・表現】 独立な試行と反復試行の確率において具体的に考察することができ定理を利用して身の回りの確率を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な事象の確率を求めようとしている。身の回りのことがらについて期待値を求めようとしている。	○	○	○	10
	単元6 定期考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元7 第2章 図形の性質 第1節 三角形の性質 【知識及び技能】 三角形の基本要素を理解し、基本的な問題を解けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 三角形の考えを用いて問題を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角形の考えを身の回りの問題に活用しようとしている。	・三角形の内角と外角の関係を理解し性質を利用して求めることができる。 ・平行線と線分の比を理解してそれらを用いて線分の長さを求める。 ・外心、内心、重心を理解しそれらの性質を利用して角の大きさや線分の長さを求められるようにする。 ・外心、内心、重心を理解しそれらの性質を利用して角の大きさや線分の長さを求められるようにする。	【知識・技能】 角の大きさを求めることができる。角の二等分線や三角形の外心などの性質を理解し線分の長さを求められる。 【思考・判断・表現】 内角と外角の関係を考察できる。外心、内心、重心の性質を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校で学んだ内容を振り返り新しい内容を理解しようとしている。実際の三角形で外心などを求めようとしている。	○	○	○	10
	単元8 第2節 円の性質 【知識及び技能】 円の基本要素を理解し、基本的な問題を解けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 円の性質を用いて問題を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 円の性質を身の回りの問題に活用しようとしている。	・接線と弦のつくる角について学習し、角の大きさを求められるようにする。 ・接線の性質や方べきの定理を理解し線分の長さを求められるようにする。 ・円周角の定理を理解しそれらを利用して角の大きさを求めることができるようにする。 ・2円の位置関係を調べる方法を学ぶ。	【知識・技能】 円周角の定理を利用し角の大きさを求められる。方べきの定理を理解し線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 円周角の定理についてその性質を考察できる。2つの円の位置関係を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な性質を用いて問題に取り組み2つの円の位置関係と共通接線の本数を調べようとしている。	○	○	○	10
	単元9 定期考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元10 第3節 作図 ・基本の作図 ・いろいろな作図 【知識及び技能】 作図の基本要素を理解し、基本的な問題を解けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 作図の性質を用いて問題を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作図の性質を身の回りの問題に活用しようとしている。	・基本的な作図の方法が理解できる。 ・平行な直線や線分を3等分する点の作図方法が理解できる。 ・三角形の外心や内心、重心の作図方法を理解する。	【知識・技能】 基本的な作図の方法を理解し作図ができる。平行線や等分点、三角形の内心などが作図できる。 【思考・判断・表現】 定規とコンパスでどのように作図ができるかを、その性質から考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形の性質に注目して作図の方法について考え学んだ以外の点で作図ができそうな点はないか考えようとしている。	○	○	○	10
	単元11 第4節 空間図形 ・空間における直線と平面 ・多面体 【知識及び技能】 空間図形の基本要素を理解し、基本的な問題を解けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 空間図形の性質を用いて問題を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 空間図形の性質を身の回りの問題に活用しようとしている。	・平面の決定条件や2つの直線の位置関係、2つの平面の位置関係を、直線と平面の位置関係が理解できる。 ・多面体の性質が理解できる。 ・図形の性質で学んだ内容を復習し、体系的に考えられるようにする。	【知識・技能】 ねじれの位置やなす角について理解しそれらを求め直線と平面の関係に着目しその位置関係がわかる。 【思考・判断・表現】 空間における直線の位置関係などを考察できる。多面体についてその性質が考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 空間図形に関心を持ち、直線や平面の位置関係について調べようとしている。	○	○	○	10

3 学 期	単元12 定期考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元13 第3章 数学と人間の活動 第1節 数と人間 【知識及び技能】 整数の基本要素を理解し、基本的な問題を解けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 整数の性質を用いて問題を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 整数の性質を身の回りの問題に活用しようとしている。	・約数と倍数の意味を理解し、それらの性質をりようしてそれぞれを求められるようにする。 ・10進数と2進数の仕組みや良さを理解し、現代の社会で2進数が活躍していることを知る。 ・ユークリッド互除法を用いて、最大公約数を求め2つの数の関係性を考える。	【知識・技能】 1つの数を10進数と2進数の両方で表現できる。2進数の加算ができる。 【思考・判断・表現】 約数や倍数の関係について考察することができる。ユークリッド互除法を用いることが便利であると考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1つの数を様々な表現方法で表現しようとしている。いろいろな数の約数や倍数、公約数を求めようとしている。	○	○	○	10
	単元14 第2節 図形と人間 【知識及び技能】 図形の基本要素を理解し、基本的な問題を解けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の性質を用いて問題を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 図形の性質を身の回りの問題に活用しようとしている。	・古代の人間の生活や建造物に数学が役立っていることを知る。 ・相似を利用した測定について理解し、相似な図形を利用して実際の線分の長さを求めることができる。 ・座標の考え方を理解して座標平面や空間に点を図示することができる。	【知識・技能】 相似を利用して線分の長さを求めることができる。座標の考え方を理解し平面や空間上で点を図示できる。 【思考・判断・表現】 図形と人間のかかわりについて考察できる。相似を利用した測定を考察できる。座標の意義がわかる。 【主体的に学習に取り組む態度】 相似の知識を用いて実際の長さを求め身の回りで座標の考え方が生かされているものを考えようとしている。	○	○	○	10
	単元15 定期考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
							合計
							105

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教 科： 理科 科 目： 科学と人間生活 単位数： 2 単 位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 改訂 科学と人間生活（東京書籍） ）

教科 理科	の目標：
【知識及び技能】 科学的な原理や法則を理解し、実験や観察を通じてその知識を適切に活用する能力を養う。	
【思考力、判断力、表現力等】 実験結果や科学的なデータを分析し、論理的に考察して結論を導き出し、分かりやすく表現する力を高める。	
【学びに向かう力、人間性等】 科学的な問題に対して興味を持ち、積極的に学び続け、協力して実験や研究を進める姿勢を育む。	

科目	の目標：		
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	・ 自然の物事・現象と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。	・ 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。	・ 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元1 科学技術の発展 ・ エネルギーや情報技術の発展 ・ 持続可能な未来のために 【知識及び技能】 科学技術の発展が今日の人間生活に対してどの様に貢献してきたかについての理解 【思考力、判断力、表現力等】 科学技術と人間生活の関りについて科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 科学技術の発展と人間生活との関りに関する物事・事象に進んで関り、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学・先人たちが積み上げてきた技術に対する興味関心を高める。	・ 科学技術の歴史と発展 ・ エネルギーや情報技術の発展 ・ スマートハウス・スマートシティ、 これからの科学技術と私たちの人間生活の関り ・ 持続可能な未来のために	【知識・技能】 科学技術の発展が人間生活を豊かで便利にしてきた事、現代の生活には科学技術が不可欠である事を理解している。 【思考・判断・表現】 科学技術が人間生活で果たす役割について、調べたことを基に考察・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 科学技術と人間生活の関りに関心を持ち調べ学習・班同士で対話・発表を通し、科学技術が果たす役割や課題を考えようとしている。	○	○	○	3
単元2 微生物とその利用 さまざまな微生物 【知識及び技能】 微生物のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを人間生活と関連付けて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 微生物とその利用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 微生物とその利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	身のまわりの微生物 生態系における微生物の働き 窒素と微生物の働き 水中の微生物の働き	【知識・技能】 土中の微生物の働きについて実験結果・生態系の中での窒素循環における微生物の役割・水中の微生物と人間の関りについて理解している。 【思考・判断・表現】 微生物と人間生活の関りについて、調べ微生物を利用する事のメリット・デメリットを多面的に考察表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな環境浄化に微生物が利用されていることについて、調べ学習を通して発表・討論・考察出来ている。。	○	○	○	5
単元3 中間調査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1

学期	単元4 微生物とその利用 さまざまな微生物 【知識及び技能】 微生物の利用についての基本的な概念や原理・法則などを人間生活と関連付けて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 微生物とその利用について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 微生物とその利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	微生物の発見の歴史 食品と微生物 発酵の仕組み 医療品と微生物	【知識・技能】 腐敗・発酵が微生物の働きによる事理解 アルコール発酵・乳酸発酵の理解 微生物利用による抗生物質などの有用な医薬品が作られていること理解 【思考・判断・表現】 酵母による発酵の反応について、条件を制御して調べ、得られた結果と調べた結果を基に科学的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 発酵食品にはどのようなものがあるか調べたり、バイオテクノロジーの利点と課題について多面的に考えようとしている。	○	○	○	6
	単元5 人の生命現象 【知識及び技能】 人の生命現象についての基本的な概念や原理・法則などを人間生活と関連付けて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 人の生命現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 人の生命現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	ヒトの視覚と光による影響 錯覚・錯視 視覚の生じる事について 血統濃度を調整する仕組み 体を守る免疫の仕組み 生命現象の大元となる遺伝子の働き	【知識・技能】 ヒトの視覚が生じる仕組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 既に学んだ内容や生活経験を基に、活動する為のエネルギー源として炭水化物に着目炭水化物の体内利用の問題点を見出し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活を振り返り、学んだ事と関連つけながら、班内討論や意見を取り入れながら、体内時計の維持のための規則正しい生活の重要性を主体的に考えようとしている。	○	○	○	7
	単元6 期末考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元7 物質の科学 金属種類、性質及び用途と資源の再利用 プラスチックの性質とその再利用 C プラスチックの再生利用 【知識及び技能】 プラスチックの性質及び用途と資源の再利用についての基本的な概念や原理・法則などを人間生活と関連付けて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 プラスチックの性質及び用途と資源の再利用について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 プラスチックの性質及び用途と資源の再利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	リサイクルとは何か 金属の性質とその再利用 金属の精錬と人間生活 金属の再生利用 プラスチックの性質と分類 プラスチックはどの様につくるのか プラスチックの再生利用	【知識・技能】 金属の精製やさび 再生利用法を人間生活に関係つけながら理解している。 プラスチックの分類や構造、再生利用法を人間生活に関係つけながら理解している。 【思考・判断・表現】 スチール缶やアルミ缶の再生利用の利点と問題点を見出し、表現している。 プラスチックの区別を具体的に考える、プラスチックの性質の利点と問題点を見出し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活を振り返り、「金属やガラス瓶等の再利用における物質循環」を学んだ事と関連つけながら、班内討論や意見を取り入れながら、資源再利用の重要性を主体的に考えようとしている。 日常生活を振り返り、「プラスチックの分類と性質」を学んだ事と関連つけながら、班内討論や意見を取り入れながら、資源再利用の重要性を主体的に考えようとしている。	○	○	○	7

単元8 衣料と食品 【知識及び技能】 身近な衣料材料の性質及び用途について及び体に必要な栄養素の性質及び用途についての基本的な概念や原理・法則などを人間生活と関連付けて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な衣料材料の性質及び用途について、及び体に必要な栄養素の性質及び用途について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な衣料材料の性質及び用途、及び体に必要な栄養素の性質及び用途に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	衣料の科学 繊維の種類と性質 衣料の科学 生物から作られる天然繊維 衣料の科学 石油から作られる合成繊維 体に必要な栄養素 栄養素やカロリー・三大栄養素 無機物とビタミンのはたらき 脂質の性質 エステル加水分解 油脂のけん化 炭水化物の性質 でんぷんが多数のグルコースが連なった高分子化合物 炭水化物（糖質）単糖類・二糖類・多糖類に分類 タンパク質の性質 アミノ酸分子の結合	【知識・技能】 各繊維について実験・資料と関連づけて具体的に理解しているとともに、繊維の種類や用途について、日常生活で来ている衣服に関連づけて具体的に理解している。 体に必要な栄養素について実験・資料と関連づけて具体的に理解しているとともに、栄養素の種類や用途について、日常生活にある食品に関連づけて具体的に理解している。 【思考・判断・表現】 多織交織を用いた実験結果を基に、白い布の素材が何で出来ているか、根拠を明確にして考察し推論し表現している。 消化酵素を用いた実験結果を基に、食べた素材が何で出来ているか、根拠を明確にして考察し推論し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活を振り返り、「天然繊維と化学繊維」を学んだ事と関連つけながら、班内討論や意見を取りれながら、繊維特徴を生かした利用を主体的に考えようとしている。 日常生活を振り返り、「体に必要な栄養素」を学んだ事と関連つけながら、班内討論や意見を取りれ、どの食品に体に必要な栄養素があるのかその種類と特徴・働きから主体的に考えようとしている。	○	○	○	7
単元9 中間調査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
単元10 光や熱の科学 光の性質とその利用 【知識及び技能】 光を中心とした電磁波の性質及び利用についての基本的な概念や原理・法則などを人間生活と関連付けて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 光を中心とした電磁波の性質及び利用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 光を中心とした電磁波の性質及び利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	光の進み方とその基本的な性質 光の波としての性質①② 目に見える光と色の見え方 さまざまなスペクトル 光の3原色と色 目に見えない光とその利用 電磁波の利用①②	【知識・技能】 光の分散や波長とスペクトルの関係・偏光や回折や干渉などの光の性質について理解している。 【思考・判断・表現】 生活経験（水底が浅く見える現象など）を基にして物質の境界面での光の進み方に問題を見出し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 偏光板を通して色々なものを見て、見え方を学んだ事と関連つけながら、班内討論や意見を取りれ、光の波としての性質を主体的に考えようとしている。	○	○	○	8
単元11 光や熱の科学 熱の性質とその利用 【知識及び技能】 熱の性質、エネルギー変換と保存及び有効利用についての基本的な概念や原理・法則などを人間生活と関連付けて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 熱の性質、エネルギー変換と保存及び有効利用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 熱の性質、エネルギー変換と保存及び有効利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	熱とは何か 原子や分子の熱運動 熱容量と比熱 熱の伝わり方（熱伝導・対流・放射） エネルギー利用と私たちの暮らし 力学的エネルギーと熱エネルギー 他のエネルギーから熱エネルギーへ 熱エネルギーから仕事への変換 エネルギーの有効利用	【知識・技能】 力学的エネルギーから熱エネルギー（熱の発生）、発熱反応・吸熱反応、科学的エネルギーや電気エネルギーから熱エネルギー変換についての理解、熱機関と熱効率、熱現象の可逆変化と不可逆変化について理解している。 【思考・判断・表現】 エネルギー変換による熱の発生について調べた結果より、どのような仕組みで温度が上がるか考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 エネルギーの有効活用・利用が、持続可能な社会の実現にどのように関係するか学んだ事と関連つけながら、班内討論や意見を取りれ、日常生活や社会において工夫されている科学技術を主体的に考えようとしている。	○	○	○	8

	單元12 期末考查 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
3学期	單元13 宇宙や地球の科学 太陽と地球 【知識及び技能】 熱の性質、エネルギー変換と保存及び有効利用についての基本的な概念や原理・法則などを人間生活と関連付けて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 熱の性質、エネルギー変換と保存及び有効利用について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 熱の性質、エネルギー変換と保存及び有効利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	太陽と月がもたらすリズム 太陽と月が作る暦 海水面の変動や潮の満ち干を齎す力 太陽が動かす大気と水 太陽放射エネルギー 太陽がつくる大気と海洋の循環 1年を通じた大気の運動と気象災害	【知識・技能】 日・月・年という時間単位の定義や意味を月や地球の運動と関連付けながら理解 潮の満ち干と月に引力の関係や月・太陽・地球の位置に関係による潮位変化の周期性、高潮による被害について理解 日本の四季と地球の公転関係、気圧分布や各季節気象との関係、停滞前線や台風発生仕組みについての理解 【思考・判断・表現】 潮位変化データーを基に、潮位変化の周期性を見出しし考察、表現できている。 暦・月・日・年がどのようにつくられるか考察し、説明表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 太陽・月・地球の運動と潮汐関係、太陽放射とエネルギーが大気や海洋に及ぼす影響について学習したことを関係づけ 班内討論や意見を取りれ、地球環境全体に及ぼす影響について主体的に考えようとしている。	○	○	○	6
	單元14 宇宙や地球の科学 自然景観と自然災害 【知識及び技能】 身近な自然景観の成り立ちや自然災害についての基本的な概念や原理・法則などを人間生活と関連付けて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な自然景観の成り立ちや自然災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な自然景観の成り立ちや自然災害に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	身近な自然景観の成り立ち 移り変わる地球の景観 山地や低地のでき方 太陽エネルギーがつくる景観 火山がつくる景観 自然災害と防災 自然災害とは 地震による災害 火山による災害 気象災害・土砂災害と防災 自然災害との付き合い方	【知識・技能】 プレート運動により海溝・海嶺・山脈ができ、地球の景観が変わり続けている事、極めて長い時間をかけて少しずつ変化しているという時間的・空間的な見方を働かせ理解している。 マグマの性質による火山の姿や噴火の形態の違い、地球の内部熱により山脈や火山ができる事を理解している。また放出された地球内部熱を人間生活で利用している事も具体的にとらえている。 【思考・判断・表現】 地形図と断層分布図を関連付けながら、断層について学んだ事を生かし考え表現している。 液状化の仕組みを見出し実際に起こる現象と関連つけて具体的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 気象災害・地震に備える必要性を理解し防災・減災について学習したことを関係づけ 班内討論や意見を取りれ、気象災害・地震による被害を少なくする為にはできる事について主体的に考えようとしている。	○	○	○	6
	單元15 課題研究 ・これまでの学習を振り返り、興味や関心をもったことやもっと調べてみたいことがあるか考える。 ・調べたことを基に、レポートを作成し、互いに発表し合う。 【知識及び技能】 これからの科学と人間生活の関わり方について認識を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 これからの科学と人間生活の関わり方について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 これからの科学と人間生活の関わり方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	課題の立案 観察実験の実施 結果の整理と考察 レポートの作成と 発表 振り返り	【知識・技能】 自然や科学技術と人間生活の関りについて、自ら課題研究を基に認識を深めている。 【思考・判断・表現】 自然や科学技術と人間生活の関りについて調べた結果より、どのような取り組みがあるいか考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然や科学技術と人間生活の関りについて図や表の活用・学習したことを関係づけ 班内討論や意見を取りれ、粘り強く、主体的に考えようとしている。	○	○	○	2
	單元16 学期末考查 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
							合計
							70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科 保健体育 の目標：

科目 の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
	単元1 A 体づくり 【知識及び技能】 心と体は互いに影響していることを理解し、健康の保持増進や体力の向上を図るための運動の計画を立てることができるようになる 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになるに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保すること 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保すること	・オリエンテーション ・体力テスト	【知識・技能】 心と体は互いに影響していることを理解し、健康の保持増進や体力の向上を図るための運動の計画を立てることができるようになる 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになるに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保すること 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとし、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保すること	○	○	○	6
1 学 期	単元2 球技：バレーボール 【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする	・オリエンテーション ・基礎スキル各種 ・ネット張り ・スパイク ・ゲーム	【知識・技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考・判断・表現】 自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする	○	○	○	8
	単元3 球技：ソフトボール 【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする	・オリエンテーション ・基礎スキル各種 ・ルールの把握 ・ゲーム	【知識・技能】 理解度、技能の習熟度、活用能力、正確さ、学習効果など 【思考・判断・表現】 適切な判断や意思決定能力 自己表現と対話能力 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加と自主的な取り組み 課題に対する責任感 自己成長を追求する姿勢	○	○	○	8

2 学 期	単元4 体育理論 運動・スポーツの学 び方 【知識及び技能】 運動やスポーツの効果的な学習の 仕方について課題を発見しそれを 言ったり、書き出したりしてい る。 【思考力、判断力、表現力等】 運動技術の種類について、自らが 行ったことのある種目に当てはめ て考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 運動技能はどのような上達過程を たどるのかについて、積極的に学 習できる。	1 スポーツにおける技術と体力 2 スポーツにおける技術と戦術 3 技能の上達過程と練習 4 効果的な動きのメカニズム 5 体力トレーニング 6 運動やスポーツでの安全の確保	【知識・技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方につ いて課題を発見しそれを言ったり、書き出 したりしている。 【思考・判断・表現】 運動技術の種類について、自らが行ったこ とのある種目に当てはめて考えることがで きる。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動技能はどのような上達過程をたどるの かについて、積極的に学習できる。	○	○	○	10
	単元5 水泳 【知識及び技能】 自身の能力に応じた泳法を習得す る クロール・平泳ぎ 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの泳法の特徴を捉えて泳 げるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 自身の技能の向上を目指し、体力 に応じて取り組める力を身に着け る	クロール25メートル 背泳ぎ 25メートル 泳法、タイム測定	【知識・技能】 自身の能力に応じた泳法を習得する ク ロール・平泳ぎを2 5 m泳ぐ 【思考・判断・表現】 それぞれの泳法の特徴を捉えて泳げるよう にする 各種泳法のルールを理解する 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の技能の向上を目指し、体力に応じて 取り組み、安全面に配慮して行うことがで きたか	○	○	○	10
	単元6 卓球 【知識及び技能】 ネット型のゲームの特性や卓球の ルールを理解し、安全に練習や ゲームを行うための、正しい知識 をもつことができる。まの個人的 技能を身に付け、多彩なプレーを 組み立てられるよう 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発 見し、合理的・計画的な解決に向 けた取り組みを工夫し、自己の考 えたことを他者に伝えることがで きる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェア なプレーを大切にしようとするこ と、作戦などについての話し合い に貢献しようとするこ、一人一 人の違いに応じたプレーなどを大 切にしようとするこ、互いに助 け合い教えあおうとするこなど や、健康・安全を確保する。	・ラケットの扱い ・シングルス・ダブルス	【知識・技能】 ネット型のゲームの特性や卓球のルールを 理解し、安全に練習やゲームを行うため の、正しい知識をもつことができる。まの 個人的技能を身に付け、多彩なプレーを組 み立てられるよう 【思考・判断・表現】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合 理的・計画的な解決に向けた取り組みを工 夫し、自己の考えたことを他者に伝えるこ とができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェアなプ レーを大切にしようとするこ、作戦など についての話し合いに貢献しようとするこ と、一人一人の違いに応じたプレーなどを 大切にしようとするこ、互いに助け合い 教えあおうとするこなどや、健康・安全 を確保する。	○	○	○	10
	単元7 バスケットボール 【知識及び技能】 球技の各型の各種目において用い られる技術や戦術、作戦には名称 があり、それらを身に付けるため のポイントがあることについて、 学習した具体例を挙げている。 【思考力、判断力、表現力等】 ルールを守り競争したり勝敗を受 け入れたりする場面で、よりよい マナーや行為について、自己の活 動を振り返っている。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェア なプレーを大切にしようとするこ と、作戦などについての話し合い に貢献しようとするこ、一人一 人の違いに応じたプレーなどを大 切にしようとするこ、互いに助 け合い教えあおうとするこなど や、健康・安全を確保する。	各種パス ゴール下シュート ドリブルシュート 3対3、5対5 ゲーム	【知識・技能】 球技の各型の各種目において用いられる技 術や戦術、作戦には名称があり、それら を身に付けるためのポイントがあることにつ いて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れ たりする場面で、よりよいマナーや行為につ いて、自己の活動を振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェアなプ レーを大切にしようとするこ、作戦など についての話し合いに貢献しようとするこ と、一人一人の違いに応じたプレーなどを 大切にしようとするこ、互いに助け合い 教えあおうとするこなどや、健康・安全 を確保する。	○	○	○	10
3 学 期	単元8 持久走 【知識及び技能】 自己の動きや仲間の動き方を分析 するには、自己観察や他者観察な どの方法があることについて理解 を深める 【思考力、判断力、表現力等】 陸上競技の学習成果を踏まえて、 自己に適した運動を継続して楽し む。心肺機能の向上を目指して取 り組む 【学びに向かう力、人間性等】 一人一人の違いに応じた課題や挑 戦を大切にしようとして取り組む	・周回走 ・タイム走・記録会	【知識・技能】 自己の動きや仲間の動き方を分析するに は、自己観察や他者観察などの方法がある ことについて理解を深める 【思考・判断・表現】 陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適 した「する、みる、支える、知る」などの 運動を継続して楽しむための関わり方を見 付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切 にしようとしている	○	○	○	8
	合計						
70							

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

单位数： 1 单位

教科担当者：

)

の目標：

【知識及び技能】 身体 の健康維持や運動の効果を理解し、実際に体育活動を通じて身体能力を高める技能を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康に関する課題を分析し、自分に適した運動方法や健康管理の方法を選び、適切に実践する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 健康や運動を通じて自己管理能力を高め、協力して活動する姿勢や、他者を尊重する態度を育む。
--

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力あふる生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元1 ライフステージと健康 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える健康づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。	【知識・技能】 理解度、習得度、学習成果など 【思考・判断・表現】 問題解決能力、意思決定能力、表現力、自己表現と対話能力など 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加、自主的な学習への取り組み 課題に関する責任感や協調性 学習に対する向上心など	○	○	○	2
単元2 思春期と健康 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える健康づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。	【知識・技能】 理解度、習得度、学習成果など 【思考・判断・表現】 問題解決能力、意思決定能力、表現力、自己表現と対話能力など 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加、自主的な学習への取り組み 課題に関する責任感や協調性 学習に対する向上心など	○	○	○	2
単元3 性意識と性行動の選択 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える健康づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。	【知識・技能】 理解度、習得度、学習成果など 【思考・判断・表現】 問題解決能力、意思決定能力、表現力、自己表現と対話能力など 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加、自主的な学習への取り組み 課題に関する責任感や協調性 学習に対する向上心など	○	○	○	2

1 学 期	単元4 妊娠・出産と健康 【知識及び技能】 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。 ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。	【知識・技能】 理解度、習得度、学習成果など 【思考・判断・表現】 問題解決能力、意思決定能力、表現力、自己表現と対話能力など 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加、自主的な学習への取り組み 課題に関する責任感や協調性 学習に対する向上心など	○	○	○	2
	単元5 避妊法と人工妊娠中絶 【知識及び技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。	【知識・技能】 理解度、習得度、学習成果など 【思考・判断・表現】 問題解決能力、意思決定能力、表現力、自己表現と対話能力など 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加、自主的な学習への取り組み 課題に関する責任感や協調性 学習に対する向上心など	○	○	○	2
	単元6 結婚生活と健康 【知識及び技能】 ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。	【知識・技能】 理解度、習得度、学習成果など 【思考・判断・表現】 問題解決能力、意思決定能力、表現力、自己表現と対話能力など 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加、自主的な学習への取り組み 課題に関する責任感や協調性 学習に対する向上心など	○	○	○	3

	単元7 期末考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
2 学 期	単元8 研究発表「健康について」 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える健康づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	身近にある健康問題について調査・研究しプレゼンテーションを行い、全体に発表し共有する	【知識・技能】 理解度、習得度、学習成果など 【思考・判断・表現】 問題解決能力、意思決定能力、表現力、自己表現と対話能力など 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加、自主的な学習への取り組み 課題に関する責任感や協調性 学習に対する向上心など	○	○	○	12
3 学 期	単元9 健康を支える環境づくり 大気汚染と健康 【知識及び技能】 ・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 ・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。	【知識・技能】 ・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 ・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	単元10 水質汚濁、土壌汚染と健康 【知識及び技能】 ・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 【学びに向かう力、人間性等】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。	【知識・技能】 ・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2

単元11 環境と健康にかかわる対策 【知識及び技能】 ・健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 ・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。	【知識・技能】 ・健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 ・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
単元12 ごみの処理と上下水道の整備 【知識及び技能】 ・上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 ・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。	【知識・技能】 ・上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 ・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1
単元13 食品の安全性 【知識及び技能】 ・上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 ・食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。	【知識・技能】 ・上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1
単元14 期末考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
						合計
						35

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教 科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ Amity English Communication Ⅱ ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の基本的な文法、語彙、発音を理解し、聞く、話す、読む、書くの技能を高める能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 外国語で自分の考えや意見を論理的に表現し、異文化や異なる視点を理解しながらコミュニケーションを行う力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 外国語を学び続ける姿勢を持ち、異文化に対する理解や敬意を深め、国際的な視野を広げる態度を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の基本的な文法、語彙、発音を理解し、聞く、話す、読む、書くの技能を高める能力を養う。	外国語で自分の考えや意見を論理的に表現し、異文化や異なる視点を理解しながらコミュニケーションを行う力を養う。	外国語を学び続ける姿勢を持ち、異文化に対する理解や敬意を深め、国際的な視野を広げる態度を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1 Okinawa 【知識及び技能】 現在のことを表現する言い方、「～できる」などの言い方を理解し、様々な場面で活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 旅行で行ってみたい場所について、紹介することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 沖縄でやってみたいことについて、進んではなしあおうとする。	・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 現在のことを表現する言い方、「～できる」などの言い方を理解し、様々な場面で活用することができる。 【思考・判断・表現】 旅行で行ってみたい場所について、紹介することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 沖縄でやってみたいことについて、進んではなしあおうとする。	○	○	○	8
	単元2 The History of Japanese Food 【知識及び技能】 過去のことを表現する言い方、「～すること」の言い方を理解し、様々な場面で活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 好きな食べ物について紹介することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 古代から現代への日本食の発展について、進んで話し合おうとする。	・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 過去のことを表現する言い方、「～すること」の言い方を理解し、様々な場面で活用することができる。 【思考・判断・表現】 好きな食べ物について紹介することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代から現代への日本食の発展について、進んで話し合おうとする。	○	○	○	8
	単元3 Volunteer Work 【知識及び技能】 「～すること」「～するための」などの言い方、「～される」の言い方を理解し、様々な場面で活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 参加してみたいボランティア活動について紹介することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ボランティア活動について、進んで話し合おうとする。	・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 「～すること」「～するための」などの言い方、「～される」の言い方を理解し、様々な場面で活用することができる。 【思考・判断・表現】 参加してみたいボランティア活動について紹介することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ボランティア活動について、進んで話し合おうとする。	○	○	○	8

2 学 期	単元4 Gacha-gacha 【知識及び技能】 〔(人I)に (もの)を～する〕などの言い方を理解し、様々な場面で活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ガチャガチャの中にあつたらうれいと思うものについて説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 外国人に人気の日本文化について、進んで話し合おうとする。	・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 〔(人I)に (もの)を～する〕などの言い方を理解し、様々な場面で活用することができる。 【思考・判断・表現】 ガチャガチャの中にあつたらうれいと思うものについて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 外国人に人気の日本文化について、進んで話し合おうとする。	○	○	○	9
	単元5 Interesting Aquariums 【知識及び技能】 「～することは…だ」「～することを…だと」の言い方を理解し、様々な場面で活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 水族館と動物園とでは、どちらが好きか説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が考えるユニークな水族館について、進んで話し合おうとする。	・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 「～することは…だ」「～することを…だと」の言い方を理解し、様々な場面で活用することができる。 【思考・判断・表現】 水族館と動物園とでは、どちらが好きか説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が考えるユニークな水族館について、進んで話し合おうとする。	○	○	○	9
	単元6 The Relay of Ahmed's Life 【知識及び技能】 「～するのを見る」や、「～させる」の言い方を理解し、様々な場面で活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 将来の夢について紹介することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生徒が考える平和について、進んで話し合おうとする。	・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 「～するのを見る」や、「～させる」の言い方を理解し、様々な場面で活用することができる。 【思考・判断・表現】 将来の夢について紹介することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生徒が考える平和について、進んで話し合おうとする。	○	○	○	9
	単元7 Artificial Intelligence 【知識及び技能】 「～のとき」、「もし～ならば」などの言い方を理解し、様々な場面で活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 欲しいと思うAIロボットについて紹介することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 AIロボットと人間の関係について、進んで話し合おうとする。	・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 「～のとき」、「もし～ならば」などの言い方を理解し、様々な場面で活用することができる。 【思考・判断・表現】 欲しいと思うAIロボットについて紹介することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 AIロボットと人間の関係について、進んで話し合おうとする。	○	○	○	9
	単元8 The mystery of Colors 【知識及び技能】 過去からの継続や経験を表現する言い方を理解し、様々な場面で活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 奇妙な写真を見て、自分の考えを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 色の持つ知からについて、進んで話し合おうとする。	・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等 ・4技能・5領域を通じた学習 ・教材(教科書・ワークブック・単語帳) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 過去からの継続や経験を表現する言い方を理解し、様々な場面で活用することができる。 【思考・判断・表現】 奇妙な写真を見て、自分の考えを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 色の持つ知からについて、進んで話し合おうとする。	○	○	○	9

[illegible]

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教 科： 家庭 科 目： 家庭総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書： （ 2東書 002-901家総「家庭総合 自立・共生・創造」 ）

教科 家庭	の目標：
【知識及び技能】 家庭生活に必要な基本的な知識や技術（料理、衣服、住居など）を理解し、実生活に役立てる能力を養う。	
【思考力、判断力、表現力等】 家庭に関する課題に対して創造的に解決策を考え、適切に判断し、実践的に表現する力を高める。	
【学びに向かう力、人間性等】 自立した生活を営むための意識を持ち、他者との協力を大切にし、家庭や社会での役割を理解し、実践する姿勢を育む。	

科目	の目標：		
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元1 人生をつくる 【知識及び技能】 ・自立した生活を営むために、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解させる。 ・生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解しているとともに、情報の収集・整理をできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生活資源を活用した生活設計について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする態度を育てる。	・人生をつくる	【知識・技能】 ・自立した生活を営むために、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 ・生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解しているとともに、情報の収集・整理が適切にできる。 【思考・判断・表現】 ・生活資源を活用した生活設計について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	3

1 学 期	単元2 経済生活を営む 【知識及び技能】 ・家計の構造について理解させるとともに生活における経済と社会との関わりについて理解を深めさせる。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画、リスク管理の考え方について理解を深め、情報の収集・整理が適切にできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージごとの課題や社会保障制度などと関連付けて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする態度を育てる。	・生涯の経済生活 ・家計マネジメント ・家庭経済と社会との関わり ・購入・支払いのルールと方法 ・消費者をめぐる問題 ・消費者の権利と責任 ・これからの消費生活	【知識・技能】 ・家計の構造について理解させるとともに生活における経済と社会との関わりについて理解を深めている。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画、リスク管理の考え方について理解を深め、情報の収集・整理が適切にできる。 【思考・判断・表現】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージごとの課題や社会保障制度などと関連付けて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	12
	単元3 住生活をつくる 【知識及び技能】 ・衣生活を取り巻く課題、日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めさせる。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理が適切にできるようにする。 ・被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に住生活を営むことができるようライフステージと住環境に応じた住居の計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする態度を育成する。	・住生活の変遷と住居機能 ・間取りと平面図 ・住居とライフステージ	【知識・技能】 ・住生活を取り巻く課題、日本と世界の住文化など、住まいと人との関わりについて理解を深めている。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解し、住生活の計画・管理に必要な技能を身につけている。 ・家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解し、快適で安全な住空間を計画するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。 【思考・判断・表現】 ・主体的に住生活を営むことができるようライフステージと住環境に応じた住居の計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	8
	単元4 定期考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		1
	単元5 子どもと共に育つ 【知識及び技能】 生活を主体的に営むために必要な子どもと子育てなどの基礎的なことについて理解し、それらに係る技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな発達を支えるために、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようする力を身につける。	・命を育む ・子どもの育つ力を知る ・これからの保育環境	【知識・技能】 ・親の役割や保育、子育て支援について理解を深めている。 ・子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・子供の健やかな発達を支えるために、子供との適切な関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供との関わりと保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	20

2 学 期	単元6 これからの生活を創造する 【知識及び技能】 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解する。自立した生活を営むために、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深める。生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解しているとともに、情報の収集・整理が適切にできる能力を高める。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察する。生活資源を活用した生活設計について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を身につける。	・生活をデザインする	【知識・技能】 ・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 ・自立した生活を営むために、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 ・生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解しているとともに、情報の収集・整理が適切にできる。 【思考・判断・表現】 ・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察する。 ・生活資源を活用した生活設計について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	単元7 ホームプロジェクト 【知識及び技能】 ホームブリジエクトの意義と実施方法について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 自己の家庭生活上の問題を見いだして課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする態度を育む。	・生活がよりよく豊かになるように生かす	【知識・技能】 ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解している。 【思考・判断・表現】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとしている。	○	○	○	3
	単元8 定期考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		1
	単元9 住生活をつくる 【知識及び技能】 ・住生活を取り巻く課題、日本と世界の住文化など、住まいと人との関わりについて理解を深めさせる。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解し、住生活の計画・管理に必要な技能を身につけさせる。 ・家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解し、快適で安全な住空間を計画するために必要な情報の収集・整理が適切にできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に住生活を営むことができるようライフステージと住環境に応じた住居の計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする態度を育成する。	・住居とライフステージ ・住生活の文化と知恵 ・安全で快適な住居 ・これからの住居	【知識・技能】 ・住生活を取り巻く課題、日本と世界の住文化など、住まいと人との関わりについて理解を深めている。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解し、住生活の計画・管理に必要な技能を身につけている。 ・家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解し、快適で安全な住空間を計画するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。 【思考・判断・表現】 ・主体的に住生活を営むことができるようライフステージと住環境に応じた住居の計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	12

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 商業 科目 財務会計Ⅰ

教科：商業 科目：財務会計Ⅰ 単位数：4 単位
対象学年組：第2学年 A組～ E組
教科担当者：
使用教科書：（7実教 商業728 新財務会計Ⅰ）
教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
会計処理を適切な勘定科目で処理し、報告書等を作成することができる。報告書等を分析することができる。	会計処理にあたり、取引の継続性等との関係性を考えることができる。連結会計等、一般生活にはない取引の概念を考えることができる。	ノートや補助資料を自らの学習を定着させるように工夫することができる。学習理解度を確認するため、自主的に問題集等を活用することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1 資産の意味・分類・評価 ・流動資産 ・固定資産 【知識及び技能】 流動資産、固定資産、無形固定資産などの分類と評価方法を理解し、会計処理の基礎を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 資産の分類と評価基準を正しく理解し、売買目的有価証券や固定資産の売却等の処理を適切に判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 資産の評価方法を学び、実務に活かせる知識を深めるために積極的に学び、課題に取り組む姿勢を育む。	・売買目的有価証券 ・資本的収益的支出 ・固定資産の売却 ・無形固定資産の取得、償却、評価 ・投資その他の資産の評価	【知識・技能】 資産の分類と評価方法を理解し、売買目的有価証券や固定資産の売却処理などを正確に実行できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 資産の評価に関する知識をもとに、実際の会計処理において適切な判断をし、表現力を発揮できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 資産評価に関する学びに積極的に取り組み、実務での適用を深めるための意欲と姿勢を評価する。	○	○	○	22
	単元2 定期考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元3 負債の意味と分類 【知識及び技能】 負債の意味や分類を理解し、流動負債や固定負債、引当金、保証債務の会計処理方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 負債の分類と評価を適切に判断し、引当金や保証債務の計上方法を正しく表現できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 負債に関する知識を実務に活かすために積極的に学び、疑問点を解決するために継続的に取り組む姿勢を育む。	・負債の意味、分類 ・引当金、保証債務	【知識・技能】 負債の意味や分類、引当金や保証債務の処理方法を理解し、適切に会計処理できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 負債の分類や評価に関して適切な判断を下し、引当金や保証債務を適切に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 負債の処理に関する学びを積極的に進め、実務における適用を深めるために主体的に学習を続ける態度を評価する。	○	○	○	5
	単元4 純資産の意味と分類 【知識及び技能】 純資産の意味と分類を理解し、剰余金や準備金の処理方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 純資産に関する知識を基に、剰余金や準備金の適切な管理方法を判断し、表現できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 純資産に関する学びを実務に活かすために積極的に学び、課題に取り組む姿勢を育む。	・純資産の意味と分類を明らかにする。 ・剰余金、準備金	【知識・技能】 純資産の分類や剰余金、準備金の計上方法を理解し、正確に実践できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 純資産の分類に基づいて適切に判断し、剰余金や準備金を表現する能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 純資産の処理に関する学びに積極的に取り組み、実務で適用できるように継続的に努力する態度を評価する。	○	○	○	10

2 学 期	単元5 自己株式 【知識及び技能】 自己株式の取得・処分・消却に関する会計処理を正しく理解し、実務で適用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己株式の処理方法を適切に判断し、会計処理を論理的に説明できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自己株式の会計処理に積極的に取り組み、理解を深め、実務に活かす姿勢を育む。	- 自己株式の取得・処分・消却の会計処理を習得させる。 - 自己株式	【知識・技能】 自己株式の取得・処分・消却の会計処理について正しく理解し、適切に実践できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 自己株式に関する処理を適切に判断し、論理的に説明できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己株式の会計処理に積極的に取り組み、理解を深めるために自主的に学習し続ける姿勢を評価する。	○	○	○	5
	単元6 棚卸資産 【知識及び技能】 棚卸資産の意味と種類、商品評価損や棚卸減耗損、売価還元原価法について理解し、適切に計算する。 【思考力、判断力、表現力等】 棚卸資産の評価方法を判断し、売価還元原価法を適用して、具体的な財務処理を表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 棚卸資産の理解を深め、会計処理を実務に役立てるために、積極的に学習に取り組む姿勢を育む。	- 棚卸資産の意味と種類を理解させる。 - 次の項目を中心に評価する - 商品評価損、棚卸減耗損 - 売価還元原価法	【知識・技能】 棚卸資産の意味、商品評価損、棚卸減耗損の計算方法を理解し、売価還元原価法を適切に適用できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 棚卸資産の評価方法を正しく判断し、実際の会計処理において適切に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 棚卸資産の会計処理を理解し、積極的に学習に取り組んで、実務への適用を深めるための姿勢を評価する。	○	○	○	2
	単元7 定期考査			○	○	○	1
	単元8 損益計算書 【知識及び技能】 損益計算書の様式と各区分内容を理解し、売上高や営業外収益などの表示方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 損益計算書における各項目の表示方法を適切に判断し、決算整理事項を正しく処理できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 損益計算書を理解し、実務に役立つ知識を積極的に学び、改善に向けて取り組む姿勢を育む。	- 損益計算書の様式を理解する。 - 売上高の表示 - 売上原価の表示 - 販売費および一般管理費の表示 - 営業外収益と営業外費用の表示 - 特別利益と特別損失の表示 - 損益計算書に関する決算整理事項 - 損益計算書の各区分内容の勘定表示	【知識・技能】 損益計算書の様式や各区分内容を理解し、決算整理事項を適切に処理できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 売上高、売上原価、営業外収益などの項目を適切に表示できる能力を評価し、勘定表示の適用能力を判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 損益計算書に関する理解を深め、積極的に学習に取り組んで実務への応用を目指す姿勢を評価する。	○	○	○	5
	単元9 財務諸表分析 【知識及び技能】 財務諸表分析の基本を理解し、関係比率法を使って財務状況の評価できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 財務諸表分析を通じて、企業の財務状況を把握し、適切な比率を導き出す判断力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 財務分析を実務に活かすため、積極的に学び続け、問題解決能力を高める姿勢を育む。	- 財務諸表分析の意味・方法を理解する - 関係比率法	【知識・技能】 財務諸表分析に必要な基礎知識を理解し、関係比率法を使って正確に財務データを分析できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 財務諸表分析を通じて、企業の財務状況を判断し、適切な指標を用いて分析結果を表現できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 財務諸表分析に積極的に取り組み、分析方法を深め、実務に活かせる知識を獲得する姿勢を評価する。	○	○	○	10
	単元10 貸借対照表 【知識及び技能】 貸借対照表の様式を理解し、流動資産、固定資産、投資その他の資産の表示方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 貸借対照表に関する決算整理事項を適切に判断し、各区分内容を正しく表示する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 貸借対照表を学ぶことで、会計処理の理解を深め、実務に活かすために積極的に学ぶ姿勢を育む。	- 貸借対照表の様式を理解する。 - 流動資産の表示 - 固定資産の表示 - 投資その他の資産の表示 - 貸借対照表に関する決算整理事項 - 貸借対照表の各区分内容の勘定表示	【知識・技能】 貸借対照表の様式を理解し、各項目の表示方法（流動資産、固定資産等）を正確に実践できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 貸借対照表の勘定表示や決算整理事項を適切に判断し、財務諸表として適切に表現できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 貸借対照表に関する学習に積極的に取り組み、実務に活かせる知識を深めるための意欲と姿勢を評価する。	○	○	○	10
	単元11 連結財務諸表 【知識及び技能】 連結財務諸表の意味、目的、作成手続きを理解し、基本的な修正仕訳や勘定表示を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 連結財務諸表作成の手続きを適切に判断し、連結修正仕訳や勘定表示を表現できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 連結財務諸表を学ぶことで、実務に活かせる知識を深め、学び続ける姿勢を育む。	- 連結財務諸表の意味や目的を明らかにし、連結財務諸表の概略を理解させる。 - 連結財務諸表の作成手続きを理解させる。 - 連結財務諸表に関する連結修正仕訳基礎 - 連結財務諸表の勘定表示基礎	【知識・技能】 連結財務諸表の作成手続きや修正仕訳を正確に理解し、実際に適用できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 連結財務諸表に関する修正仕訳や勘定表示を適切に判断し、表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 連結財務諸表の理解を深めるために積極的に学び、実務に役立つ知識を得ようとする姿勢を評価する。	○	○	○	10

	単元12 定期考査			○	○	○	1
	単元13 外貨建取引 【知識及び技能】 外貨建取引の意味と為替予約の会計処理方法を理解し、実務に活かせる知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 外貨建取引における為替予約の会計処理を適切に判断し、論理的に説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 外貨建取引と為替予約の会計処理を理解し、実務への適用に向けて積極的に学ぶ姿勢を育む。	・外貨建取引の意味を理解させる。 ・為替予約の会計処理	【知識・技能】 外貨建取引の基本的な概念と為替予約の会計処理を正確に理解し、適切に適用できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 外貨建取引における会計処理を正確に判断し、為替予約に関する説明を論理的に表現できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 外貨建取引や為替予約の会計処理に積極的に取り組み、知識を実務に活かすために努力する姿勢を評価する。	○	○	○	5
	単元14 税効果会計 【知識及び技能】 税効果会計の意味と役割を理解し、税効果会計の適切な会計処理を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 税効果会計における適切な会計処理方法を判断し、論理的に説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 税効果会計の理解を深め、実務に活かすために積極的に学習に取り組む姿勢を育む。	・税効果会計の意味と役割を理解させる。 ・税効果会計の適切な会計処理	【知識・技能】 税効果会計の基本的な概念と会計処理を正しく理解し、実務で適用できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 税効果会計の処理方法を適切に判断し、論理的に説明できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 税効果会計に関する理解を深めるため、積極的に学習に取り組む、実務への適用を目指す姿勢を評価する。	○	○	○	5
	単元15 全商簿記実務検定試験 1級会計受験演習 【知識及び技能】 1級簿記試験の出題内容を復習し、評価基準に基づいて演習問題を解く力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 出題内容に対して適切な解答方法を判断し、試験形式に沿った問題解決能力を養成する。 【学びに向かう力、人間性等】 簿記の実務検定試験に向けて、自主的に演習を行い、学習意欲を高める姿勢を育む。	・復習および演習	【知識・技能】 1級簿記の出題内容に基づき、過去問題を活用して正確に解答できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 出題内容に対して、問題の解答方法を適切に判断し、明確に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 簿記試験に向けて、自主的に学習を進め、積極的に問題解決に取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	12
	単元16 定期考査			○	○	○	12
3 学 期	単元17 全商簿記実務検定試験 1級会計受験演習 【知識及び技能】 1級簿記試験の出題内容を復習し、評価基準に基づいて演習問題を解く力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 出題内容に対して適切な解答方法を判断し、試験形式に沿った問題解決能力を養成する。 【学びに向かう力、人間性等】 簿記の実務検定試験に向けて、自主的に演習を行い、学習意欲を高める姿勢を育む。	・復習および演習	【知識・技能】 1級簿記の出題内容に基づき、過去問題を活用して正確に解答できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 出題内容に対して、問題の解答方法を適切に判断し、明確に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 簿記試験に向けて、自主的に学習を進め、積極的に問題解決に取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	12
	単元18 その他の会計処理 【知識及び技能】 株主資本等変動計算書や役務収益、役務原価について理解し、その他の会計処理を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 株主資本等変動計算書の構造や役務収益、役務原価の計上方法を適切に判断し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 会計処理を深く理解し、実務に役立つ知識を学び続ける姿勢を育む。	・株主資本等変動計算書、役務収益、役務原価を理解させる。 ・その他の会計処理	【知識・技能】 株主資本等変動計算書や役務収益、役務原価の会計処理方法を理解し、適切に実践できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 複雑な会計処理を適切に判断し、関連する情報を整理して表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 その他の会計処理に関する学びに積極的に取り組み、知識を深めようとする姿勢を評価する。	○	○	○	11
	単元19 定期考査			○	○	○	1
							合計 140

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 商業 科目 ビジネスアイデア

教科：商業 科目：ビジネスアイデア 単位数：3 単位
対象学年組：第2学年 A組～ E組
教科担当者：
使用教科書：（ ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスの基礎知識が身についており、実務に即して体系的・系統的に理解している。	ビジネスに関して、様々な観点から科学的な根拠に基づいて思考・判断し、創造的に表現することができる。	与えられた課題に対して、課題解決に努め、周りと協力しながら主体的かつ協同的に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1 商品開発についての意義 【知識及び技能】 新しいビジネスを発想するために必要な知識や技術を学ぶことが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題やビジネスに関する社会問題を知り、解決方法を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかつ、協働的に取り組むことができる。	オリエンテーション 商品開発についての意義 ・サービスとは ・商品の社会的な意義とは ニーズとウォンツ ・消費者にとっての商品とは ・企業にとっての商品とは ・企業にとっての資産とは ・商品ミックスとは	【知識・技能】 ビジネスにおける基礎知識について理解している。 【思考・判断・表現】 様々な観点から調査し、授業で得た知識と関連付けながらテーマに沿った課題に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学び、周りと協力しながら授業に取り組むことができる。	○	○	○	3
	単元2 ビジネスアイデアレポート 【知識及び技能】 与えられた課題を理解し、的確な情報収集をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 授業で得た知識と関連付けながらテーマに沿った課題に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 調べてきたテーマに沿って、相手に伝わりやすい発表をしようと努力している。	ビジネスアイデアレポート1 ・イチオシパンを調査せよ	【知識・技能】 与えられた課題を理解し、的確な情報収集をすることができる。 【思考・判断・表現】 授業で得た知識と関連付けながらテーマに沿った課題に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 調べてきたテーマに沿って、相手に伝わりやすい発表を行うことができる。	○	○	○	3
	単元3 マーケティングの手法 商品のライフサイクル 【知識及び技能】 新しいビジネスを発想するために必要な知識や技術を学ぶことが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題やビジネスに関する社会問題を知り、解決方法を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかつ、協働的に取り組むことができる。	マーケティングの手法 ・4P分析 ・4C分析 ・SWOT分析 ・3C分析 商品のライフサイクル ・4つのフェーズ ・市場から消えた商品 ・ロングセラー商品	【知識・技能】 ビジネスにおける基礎知識について理解している。 【思考・判断・表現】 様々な観点から調査し、授業で得た知識と関連付けながらテーマに沿った課題に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学び、周りと協力しながら授業に取り組むことができる。	○	○	○	4
	単元4 ビジネスアイデアレポート 【知識及び技能】 与えられた課題を理解し、的確な情報収集をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 授業で得た知識と関連付けながらテーマに沿った課題に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 調べてきたテーマに沿って、相手に伝わりやすい発表をしようと努力している。	ビジネスアイデアレポート2 ・食品メーカー（商品）を調査せよ	【知識・技能】 与えられた課題を理解し、的確な情報収集をすることができる。 【思考・判断・表現】 授業で得た知識と関連付けながらテーマに沿った課題に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 調べてきたテーマに沿って、相手に伝わりやすい発表を行うことができる。	○	○	○	5

2 学 期	単元5 商品の評価と改良 商品開発の手順 【知識及び技能】 新しいビジネスを発想するために必要な知識や技術を学ぶことが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題やビジネスに関する社会問題を知り、解決方法を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかつ、協働的に取り組むことができる。	商品の評価と改良 ・改良された商品事例を学ぶ 商品開発の手順 ・環境分析 ・経済的要因の分析 ・社会的要因の分析	【知識・技能】 新しいビジネスを発想するために必要な知識や技術を学ぶことが理解できる。 【思考・判断・表現】 課題やビジネスに関する社会問題を知り、解決方法を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかつ、協働的に取り組むことができる。	○	○	○	8
	単元6 ビジネスアイデアレポート 【知識及び技能】 与えられた課題を理解し、的確な情報収集をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 授業で得た知識と関連付けながらテーマに沿った課題に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 調べてきたテーマに沿って、相手に伝わりやすい発表をしようと努力している。	ビジネスアイデアレポート3 ・自分でお勧めしたい商品の販売促進を調査せよ	【知識・技能】 与えられた課題を理解し、的確な情報収集をすることができる。 【思考・判断・表現】 授業で得た知識と関連付けながらテーマに沿った課題に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 調べてきたテーマに沿って、相手に伝わりやすい発表を行うことができる。	○	○	○	7
	単元7 期末考查 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5
	単元8 連携先企業の調査研究 【知識及び技能】 連携先の企業を調査し、的確な情報収集をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 授業で得た知識と関連付けながらテーマに沿った課題に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 調べてきたテーマに沿って、相手に伝わりやすい発表をしようと努力している。	連携先企業からの講義 フィールドワーク テーマに沿った調査研究	【知識・技能】 連携先企業の調査 【思考・判断・表現】 授業で得た知識と関連付けながらテーマに沿った課題に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 調べてきたテーマに沿って、相手に伝わりやすい発表を行うことができる。	○	○	○	5
	単元9 課題の探究 【知識及び技能】 与えられた課題を理解し、的確な情報収集をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 授業で得た知識と関連付けながらテーマに沿った課題に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 調べてきたテーマに沿って、相手に伝わりやすい発表をしようと努力している。	課題探究発表（個人）	【知識・技能】 与えられた課題を理解し、的確な情報収集をすることができる。 【思考・判断・表現】 授業で得た知識と関連付けながらテーマに沿った課題に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 調べてきたテーマに沿って、相手に伝わりやすい発表を行うことができる。	○	○	○	5
	単元10 企画 【知識及び技能】 与えられた課題を理解し、的確な情報収集をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 授業で得た知識と関連付けながらテーマに沿った課題に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の考えを理解しながら、協調性をもって学習をすすめようとしている。	企画立案（グループ） ・ブレインストーミング ・Productを考える ・Priceを考える ・Placeを考える ・Promotionを考える	【知識・技能】 与えられた課題を理解し、的確な情報収集をすることができる。 【思考・判断・表現】 授業で得た知識と関連付けながらテーマに沿った課題に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の考えを理解しながら、協調性をもって学習をすすめようとしている。	○	○	○	10
	単元11 企画 【知識及び技能】 与えられた課題を理解し、的確な情報収集をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 授業で得た知識と関連付けながらテーマに沿った課題に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の考えを理解しながら、協調性をもって学習をすすめようとしている。	企画立案（グループ） ・Placeを考える ・Promotionを考える 企画書を書く	【知識・技能】 与えられた課題を理解し、的確な情報収集をすることができる。 【思考・判断・表現】 授業で得た知識と関連付けながらテーマに沿った課題に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の考えを理解しながら、協調性をもって学習をすすめようとしている。	○	○	○	15

3 学 期	単元12 企画 【知識及び技能】 与えられた課題を理解し、的確な情報収集をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 グループの特徴や長所を生かした企画を立案することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の考えを理解しながら、協調性をもって学習をすすめようとしている。	企画書を書こう 発表の資料をまとめよう 中間発表をしよう	【知識・技能】 与えられた課題を理解し、的確な情報収集をすることができる。 【思考・判断・表現】 グループの特徴や長所を生かした企画を立案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の考えを理解しながら、協調性をもって学習をすすめようとしている。	○	○	○	11
	単元13 企画のブラッシュアップ 【知識及び技能】 企業からのアドバイスを理解し、企画した内容の改良ポイントをつかむことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 企業からのアドバイスをもとに、企画内容の改良点について判断し、改良することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の考えを理解しながら、協調性をもって学習をすすめようとしている。	企画のブラッシュアップ	【知識・技能】 企業からのアドバイスを理解し、企画の内容の改良ポイントをつかむことができる。 【思考・判断・表現】 企業からのアドバイスをもとに、企画内容の改良点について判断し、改良することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の考えを理解しながら、協調性をもって学習をすすめようとしている。	○	○	○	5
	単元14 企画の仕上げ 【知識及び技能】 与えられた課題や役割を理解し、的確な発表準備をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 企業からのアドバイスをもとに、企画内容の改良点について判断し、改良した点を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 チームワークを大切にし、他者と協力しながら発表活動をしている。	企画発表（グループ）	【知識・技能】 与えられた課題や役割を理解し、的確な発表準備をすることができる。 【思考・判断・表現】 企業からのアドバイスをもとに、企画内容の改良点について判断し、改良した点を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 チームワークを大切にし、他者と協力しながら発表活動をしている。	○	○	○	10
	単元15 振り返り 【知識及び技能】 1年間で学んだことを、整理して書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 1年間授業を通して、何を学ぶことができたか、思考・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスアイデアを行う学びを積極的にしようとしているか、振り返ることができる。	振り返り	【知識・技能】 1年間で学んだことを、整理して書くことができる。 【思考・判断・表現】 1年間授業を通して、何を学ぶことができたか、思考・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスアイデアを行う学びを積極的にしようとしているか、振り返ることができる。	○	○	○	9

合計
105

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 商業 科目 A_ビジネス・コミュニケーション

教科：商業 科目： A_ビジネス・コミュニケーション 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者： 渡邊/青木

使用教科書：（ 7実教 商業007-902 ビジネス・コミュニケーション ）

教科 商業	の目標：
【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。	
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。	
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。	

科目	の目標：		
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	ビジネスにおけるコミュニケーションについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおいてコミュニケーションを図ることに主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1 企業の組織と意思決定 【知識及び技能】 企業の組織と意思決定を理解させる 実践的なスキルの習得させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力の向上させる 論理的な判断を強化させる 効果的なコミュニケーションスキル考えさせる 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学習態度を促進させる チームワークと協力の重要性を理解させる 倫理観と責任感の育成させる	企業の組織と意思決定 業務の進行方法 仕事に対する心構え 人的ネットワークの構築	【知識・技能】 基礎的な知識の習得と専門的なスキルの向上を評価する。 【思考・判断・表現】 論理的思考、問題解決能力、効果的なコミュニケーションスキルを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学習態度、協調的性やリーダーシップ、倫理観や社会的責任感を評価する。	○	○	○	7
	単元2 応対に関するビジネスマナー 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる 実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	挨拶、身だしなみ・表情・身のこなし 言葉遣い、名刺交換と紹介 訪問・来客の対応、電話の応対 席次のマナー	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	14
	単元3 交際に関するビジネスマナー 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる 実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	交際のマナー 食事のマナー	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	8

2 学 期	単元4 交際に関するビジネスマナー 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる 実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	接客 ホスピタリティの概念と重要性	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたか。を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	6
	単元5 コミュニケーションの役割と思考方法 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる 実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	コミュニケーションの役割と種類、ビジネスコミュニケーションの基本 ビジネスにおける思考方法、ディベート	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたか。を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	6
	単元6 ビジネスにおけるコミュニケーション 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる 実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	ディスカッション、プレゼンテーション、交渉 苦情処理、商品説明とワーク ショップ、 ソーシャルメディアを活用した情報発信	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたか。を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	6
	単元7 コミュニケーションとビジネススキル 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる 実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	会議、文書におけるコミュニケーション	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたか。を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	2
	単元8 企業活動のグローバル化 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる 実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	国際ビジネスの進展 国際ビジネスにおけるコミュニケーション	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたか。を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	5
3	単元9 ビジネスの会話 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる 実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	国内での接客、入国 商談と会議、帰国	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたか。を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	6

学期	単元10 ビジネス文書と電子メール 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる 実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	ビジネスレター、電子メールの利用 貿易取引、貿易取引におけるビジネス文書	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたか。を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	4
	単元11 ビジネスにおけるプレゼンテーション 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる 実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	プレゼンテーションの構成、プレゼンテーションの作成	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたか。を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	6
							合計
							70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 商業 科目 A_原価計算

教 科： 商業 科 目： A_原価計算 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 2 学年 A 組～ E 組
教科担当者：
使用教科書：（ 190東法 商業721 原価計算 ）
教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
原価計算、原価計算に関する会計処理および原価情報の活用に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連づけられ、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身についている。	唯一絶対の答えがないことの多い経済社会にあって、原価計算をはじめとしたさまざまな知識、技術などを活用し、原価計算、原価計算に関する会計処理および原価情報の活用の方法の妥当性と実務に適用することにもなる課題を見いだすとともに、原価情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、原価計算に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠にもとづいて工夫してよりよく課題に対応する力が身についている。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力および適切な原価管理をおこなう力の向上を目指してみずから原価計算について学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にに関わり、適切な原価の費目別計算、部門別計算、製品別計算などによる原価情報の提供と効果的な活用に責任をもって取り組む態度が身についている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元1 1 原価と原価計算 2 原価計算のあらまし 3 工業簿記 【知識及び技能】 工業簿記と原価計算の関係、種類を理解し、記帳方法と原価計算の基本を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 原価計算の種類と工業簿記の記帳方法を適切に判断し、整理して表現できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 原価計算と工業簿記を理解し、実務に役立つ知識を学び続ける姿勢を育む。	・工業簿記と原価計算の関係を理解させる。 ・原価計算の種類を理解させる。 ・工業簿記の一連の記帳方法を説明し、全体的構造を理解させる。 ・原価計算の種類 ・工業簿記の一連の記帳	【知識・技能】 原価計算の基本概念、工業簿記の記帳方法を理解し、適切に実践できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 原価計算の各種類を適切に判断し、工業簿記の記帳を正確に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 原価計算や工業簿記に関する理解を深め、積極的に学習を進める姿勢を評価する。	○	○	○	6
単元2 4 材料費の計算と記帳 1 4 材料費の計算と記帳 2 【知識及び技能】 材料の消費と記帳方法について理解し、実際の計算や記帳手順を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 材料費の計算方法を適切に判断し、記帳の手順を論理的に表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 材料費の計算と記帳を学び、実務に応用するために積極的に学ぶ姿勢を育む。	・材料の消費と記帳方法のついて理解させる。 ・材料の消費と記帳方法	【知識・技能】 材料の消費と記帳方法を理解し、実際に計算および記帳が正確にできる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 材料費の計算方法を正しく判断し、その手順を適切に表現できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 材料費計算の学習に積極的に取り組み、実務への応用を目指して自主的に学ぶ姿勢を評価する。	○	○	○	4
単元3 5 労務費の計算と記帳 1 5 労務費の計算と記帳 2 【知識及び技能】 労務費の分類とその内容を理解し、賃金の消費とその記帳方法を正確に学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 労務費の計算方法や記帳方法を理解し、実際の事例に基づいて正確な記帳ができる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 労務費の重要性とその計算方法を社会のビジネス実務に関連付けて積極的に学ぶ姿勢を育成する。	・労務費の分類とその内容を理解させる。 ・賃金の消費と記帳方法のついて理解させる。	【知識・技能】 労務費の分類と賃金の消費・記帳方法についての知識を習得し、実際の計算と記帳ができる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 労務費に関連する課題を分析し、正しい計算方法と記帳手順を実行できる論理的思考力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 労務費の計算と記帳について、実践的に学び、積極的に学習に取り組み、向上心を持って取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	4

2 学 期	単元4 6 経費の計算と記帳 【知識及び技能】 経費の分類とその計算方法、記帳方法を正確に理解し、実務に即した計算能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 経費の消費高を正確に計算し、適切な記帳方法を使って業務で活かす力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 経費の重要性を理解し、正確な計算と記帳を通じて、自己管理能力を高める姿勢を育成する。	・経費の意味と分類を理解させる。 ・経費の消費高の計算方法と記帳方法について理解させる。	【知識・技能】 経費の意味、分類、計算方法、記帳方法についての知識を理解し、課題に対して正確に対応できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 経費の消費高を分析し、計算手順を論理的に組み立て、実践的に記帳する能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 経費の計算や記帳に対して積極的に学び、自己管理能力を発揮し、学び続ける態度を評価する。	○	○	○	4
	単元5 7 個別原価計算 【知識及び技能】 個別原価計算の仕組みと配賦方法を理解し、原価計算表の記入方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 予定配賦率を用いて適切に原価配賦を行い、計算結果を論理的に説明できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 経理業務の重要性を理解し、自己の計算結果に責任を持って取り組む姿勢を育成する。	・個別原価計算のしくみを理解させる。 ・原価計算表の記入方法を理解させる。 ・予定配賦率による配賦を理解させる。	【知識・技能】 個別原価計算の基本的な仕組みと配賦方法、原価計算表の記入方法が正確にできるかを評価する。 【思考・判断・表現】 予定配賦率を使った原価計算の適切さ、計算結果に基づいた論理的な説明力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 原価計算に対して積極的に学び、自己管理能力を発揮し、計算業務に責任感を持って取り組む態度を評価する。	○	○	○	4
	単元6 8 部門別個別原価計算 【知識及び技能】 部門別個別原価計算の仕組みと部門費配分表・振替表の作成方法を習得し、仕訳を正確に行う。 【思考力、判断力、表現力等】 部門別原価計算に基づき、費用配分を行い、結果を的確に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 計算過程を論理的に整理し、チームで協力して課題に取り組む姿勢を養う。	・部門別個別原価計算のしくみを理解させる。 ・部門費配分表 ・部門費振替表を作成させ、それぞれにもとづく仕訳を習得させる。	【知識・技能】 部門別原価計算の仕組み、部門費配分表・振替表の作成が正確にでき、適切な仕訳ができるかを評価。 【思考・判断・表現】 部門別原価計算における費用配分の妥当性を理解し、結果を論理的に説明できる力を評価。 【主体的に学習に取り組む態度】 部門別原価計算に対して積極的に学び、協力して作成した資料や結果に責任を持って取り組む態度を評価。	○	○	○	5
	単元7 9 総合原価計算 1 【知識及び技能】 個別原価計算と総合原価計算の違いを理解し、総合原価計算の種類を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 総合原価計算の各種類を適切に使い分け、その特性を説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 計算方法を自主的に学び、問題解決のために積極的に取り組む姿勢を養う。	・個別原価計算と総合原価計算の違いを明らかにする。 ・総合原価計算の種類を理解させる。	【知識・技能】 総合原価計算の種類を理解し、計算の違いとその適用方法を正確に実行できることを評価。 【思考・判断・表現】 総合原価計算に関する知識を活用し、実際の問題に適用し説明する能力を評価。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら学習し、課題に対して積極的に取り組み、グループで協力しながら解決策を考える態度を評価。	○	○	○	2
	単元8 9 総合原価計算 2 【知識及び技能】 単純総合原価計算の種類と月末仕掛品原価の計算方法を理解し、適切に計算できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 月末仕掛品の原価計算方法を用いて、計算過程を説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に学び、計算問題を解決するために積極的に取り組む態度を養う。	・単純総合原価計算の種類を理解させる。 ・月末仕掛品原価の計算方法について説明し、理解させる。	【知識・技能】 単純総合原価計算の種類と月末仕掛品原価の計算方法を理解し、適切に計算できることを評価。 【思考・判断・表現】 総合原価計算の手法を活用し、実際の問題に適用し正確に計算過程を説明する能力を評価。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら学習に取り組む、課題解決に向けて積極的に発表・議論し、協力して学ぶ態度を評価。	○	○	○	5
	単元9 9 総合原価計算 3 【知識及び技能】 等級別総合原価計算と組別総合原価計算の方法を理解し、適切に実施できる。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな原価計算方法を活用し、実際の原価計算問題を解決する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に問題解決に取り組み、自己学習を深める姿勢を育む。	・等級別総合原価計算を理解させる。 ・組別総合原価計算を理解させる。	【知識・技能】 等級別および組別総合原価計算の方法を理解し、正確に計算を行えるかを評価。 【思考・判断・表現】 計算問題において、原価計算方法を適用し、説明できるかどうかを評価。 【主体的に学習に取り組む態度】 自発的に学び、課題に積極的に取り組み、解決策を見出す努力を評価。	○	○	○	3

	単元10 10 工程別総合原価計算 【知識及び技能】 工程別総合原価計算の意味・目的、計算手順を理解し、適切に記帳できる。 【思考力、判断力、表現力等】 工程別原価計算の実践問題を解決し、他の方法との違いを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで計算手順を習得し、計算ミスを減らすための努力を積極的に行う。	・工程別総合原価計算の意味と目的を理解させる。 ・工程別総合原価計算の手続きと記帳方法を理解させる。	【知識・技能】 工程別総合原価計算の目的や手続き、記帳方法を理解し、正確に記帳できるかを評価。 【思考・判断・表現】 実際の原価計算問題に取り組み、理解を深め、適切な方法を選択・適用できるかを評価。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら進んで課題に取り組み、誤りを修正するために繰り返し学習を行う態度を評価。	○	○	○	4
	単元11 11 製品の完成と販売 12 決算と本社・工場間の取引 【知識及び技能】 製品の完成と販売に伴う手続き、記帳方法、製造原価報告書の作成方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本社・工場間の取引と関連した原価計算の手続きについて、考察し説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 複雑な原価計算の仕訳や報告書作成に積極的に取り組み、理解を深めようとする姿勢を育む。	・製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法を理解させる。 ・製造原価報告書の作成方法について理解させる。 ・工場会計の独立と、その記帳方法について理解させる。	【知識・技能】 製品の完成と販売に伴う記帳、製造原価報告書作成の手順を理解し、正確に処理できるか評価。 【思考・判断・表現】 工場会計の独立性や本社・工場間の取引の記帳に関する問題解決能力を評価。 【主体的に学習に取り組む態度】 複雑な原価計算作業や報告書作成を進んで学び、実践を通じて自らの理解を深める態度を評価。	○	○	○	4
	単元12 13 標準原価計算 【知識及び技能】 標準原価計算の意義、計算方法、原価差異の分析方法を習得し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 標準原価と実際の原価との差異を分析し、問題点を説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 標準原価計算に基づいた原価管理に積極的に取り組み、自己学習する態度を養う。	・標準原価計算の意義と特色、全体的な流れを理解させる。 ・完成品と仕掛品の標準原価による計算方法を理解させる。 ・原価差異の計算とその分析方法を理解させる。	【知識・技能】 標準原価計算に関する基礎知識と実際の計算能力、原価差異の理解度を評価する。 【思考・判断・表現】 差異分析を通して問題解決の能力を評価し、改善策の提案や判断力を重視する。 【主体的に学習に取り組む態度】 標準原価計算に関する実務的な問題に対して積極的にアプローチし、理解を深める姿勢を評価。	○	○	○	5
	単元13 14 直接原価計算 1 【知識及び技能】 直接原価計算の基本的な意義と特徴、計算方法を理解し、利益計画に役立つことを習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 CVP分析を通して、利益計画や意思決定における原価計算の役割を評価し、実務的な判断ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 直接原価計算を積極的に活用し、実際の経営計画や問題解決に取り組む姿勢を養う。	・直接原価計算の意義と特色を理解させる。 ・直接原価計算が利益計画に適していることを理解させる。 ・直接原価計算による損益計算書の作成方法を理解させる。 ・CVP分析を理解させる。	【知識・技能】 直接原価計算の意義、損益計算書の作成方法、CVP分析の理解度を基に、計算問題を正確に解く能力を評価。 【思考・判断・表現】 直接原価計算とCVP分析を活用した問題解決能力を重視し、理論に基づいた合理的な解答を出す力を評価。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分で問題解決に取り組む力や、経営計画に関する知識を活かし、実務的な問題に挑戦する姿勢を評価。	○	○	○	5
3 学 期	単元14 全商簿記実務検定試験 1級原価計算受験演習 【知識及び技能】 原価計算の全範囲を復習し、検定試験に必要な理論と計算技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 実際の試験問題に基づき、計算問題の正確な解答方法と時間管理能力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 試験に向けて積極的に復習し、自己の学習進捗に責任を持ちながら取り組む姿勢を養う。	・復習および答案演習（全範囲）	【知識・技能】 試験範囲の全ての原価計算に関する問題に対して、正確かつ迅速に解答できる力を評価する。 【思考・判断・表現】 計算問題を解く際の論理的思考力、及び試験本番での判断力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 復習に対して積極的に取り組み、自己管理能力を発揮して試験準備を進める姿勢を評価する。	○	○	○	10
	単元15 日商簿記検定2級（原価計算） 【知識及び技能】 日商簿記2級の原価計算に関する過去問題を解き、解答技術と計算スピードを向上させる。 【思考力、判断力、表現力等】 過去問題を分析し、出題傾向に対応できるように解法のパターンを理解し、解答力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に過去問題に取り組み、反復練習を通じて自己学習の習慣を確立する。	・過去問題を解答し、分析をおこなう。	【知識・技能】 過去問題に基づき、計算問題を正確に解答する技能を評価し、知識の定着度を確認する。 【思考・判断・表現】 複雑な問題に対して論理的に解答方法を選び、効率的に解答できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に過去問題を解くことで、自己改善の意欲を持ち、計画的に学習を進める姿勢を評価する。	○	○	○	5
	合計						70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 商業 科目 A_商品と流通

教 科： 商業 科 目： A_商品と流通 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 7 実教 商業732 商品開発と流通 ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解し、商品の企画からプロモーションまでの様々な場面で役に立つ商品開発に関する知識と、流通の立場から捉えた取引対象としての商品に関する知識を身に付けている。	商品開発と流通をはじめとした様々な知識や情報などを活用し、商品開発と流通の動向や課題を発見するとともに、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、科学的な根拠に基づいて商品開発と流通に関する計画を立案したり、提案したりしている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら商品開発と流通について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にに関わり、商品開発と流通に関する学習活動に責任をもって取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1 Introduction 1なぜ商品開発と流通は行われるのか？ 2なぜ『商品開発と流通』を学ぶのか？ 1章 商品開発と流通の概要 1 私たちの生活と商品 2 商品開発の意義と手順 3 商品と流通との関わり 【知識及び技能】 ・商品開発と流通が一連のものであることを理解させる。 ・『商品開発と流通』の学習内容について理解させる。 ・現代市場における商品開発と流通の概要について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場の特徴と関連付けて、商品開発の意義と課題を見出すことができる。 ・商品開発の手順とともに、学習計画が立てられている。 ・商品と流通との関わりについて、具体的な事例と関連付けながら、思考できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済や消費者の動向について自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組ませる。 ・商品開発の流れを理解させる。	日常生活を送るために、商品は必要不可欠なものであり、それを入手するためには流通も重要であることを理解する。 『商品開発と流通』の概要を理解する 商品の成り立ちおよびその捉え方について理解する。 商品開発の意義、新商品の捉え方、商品ライフサイクルについて理解する。 商品開発の手順について理解し、学習の見通しをたてる。 流通の仕組みについて、事例を調査して考察する。 市場環境とマーケティングの変化、流通チャネルの多様化について理解する。	【知識・技能】 ・商品開発と流通が一連のものであることを理解している。 ・『商品開発と流通』の学習内容について理解している。 ・現代市場における商品開発と流通の概要について理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代市場の特徴と関連付けて、商品開発の意義と課題を見出すことができる。 ・商品開発の手順とともに、学習計画が立てられている。 ・商品と流通との関わりについて、具体的な事例と関連付けながら、思考できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・経済や消費者の動向について自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組んでいる。 ・商品開発の流れを理解している。	○	○	○	7
	単元2 1章 商品開発と流通の概要 1 私たちの生活と商品 2 商品開発の意義と手順 3 商品と流通との関わり 【知識及び技能】 ・商品開発と流通が一連のものであることを理解させる。 ・『商品開発と流通』の学習内容について理解させる。 ・現代市場における商品開発と流通の概要について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場の特徴と関連付けて、商品開発の意義と課題を見出すことができる。 ・商品開発の手順とともに、学習計画が立てられている。 ・商品と流通との関わりについて、具体的な事例と関連付けながら、思考できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済や消費者の動向について自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組ませる。 ・商品開発の流れを理解させる。	日常生活を送るために、商品は必要不可欠なものであり、それを入手するためには流通も重要であることを理解する。 『商品開発と流通』の概要を理解する 商品の成り立ちおよびその捉え方について理解する。 商品開発の意義、新商品の捉え方、商品ライフサイクルについて理解する。 商品開発の手順について理解し、学習の見通しをたてる。 流通の仕組みについて、事例を調査して考察する。 市場環境とマーケティングの変化、流通チャネルの多様化について理解する。	【知識・技能】 ・商品開発と流通が一連のものであることを理解している。 ・『商品開発と流通』の学習内容について理解している。 ・現代市場における商品開発と流通の概要について理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代市場の特徴と関連付けて、商品開発の意義と課題を見出すことができる。 ・商品開発の手順とともに、学習計画が立てられている。 ・商品と流通との関わりについて、具体的な事例と関連付けながら、思考できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・経済や消費者の動向について自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組んでいる。 ・商品開発の流れを理解している。	○	○	○	6

2 学 期	単元3 2章 商品の企画 1 環境分析と意思決定の準備 2 市場調査 3 商品コンセプトの策定 4 商品企画の提案 【知識及び技能】 ・企業の事例を取り上げられている。 ・マクロ分析、ミクロ分析の技術が身に付いている。 ・商品ライフサイクルおよびSTPについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・市場調査から商品の企画に関する課題を発見する。 ・ブレンストーミングなどの技法を用いて、アイデアの創出が行えている。 ・アイデア創出に当たり、主体的かつ協働的な取り組みを行っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・商品の企画について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、商品の企画に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。 ・実習に積極的に取り組んでいる。 ・商品の企画について理解している。	商品の企画に必要な環境分析について、企業における事例と関連付けて理解する。 商品開発の方針を策定し、標的市場を整理して開発する商品テーマを決定することを理解する。 環境分析に基づいて、市場調査を行い、そこから商品の企画に関する課題を発見する。 商品コンセプトの内容について理解するとともに、ブレンストーミングなどの技法を用いて、商品企画につながるアイデアを考える活動を行う。 商品コンセプトを考察し、具体的に商品企画書の各項目をまとめる。 商品企画書を基にプレゼンテーションを行い、評価、改善を行う。 実習に積極的に取り組む。	【知識・技能】 ・企業の事例を取り上げられている。 ・マクロ分析、ミクロ分析の技術が身に付いている。 ・商品ライフサイクルおよびSTPについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・市場調査から商品の企画に関する課題を発見する。 ・ブレンストーミングなどの技法を用いて、アイデアの創出が行えている。 ・アイデア創出に当たり、主体的かつ協働的な取り組みを行っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・商品の企画について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、商品の企画に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。 ・実習に積極的に取り組んでいる。 ・商品の企画について理解している。	○	○	○	10
	単元4 期末考査(授業内・または、テスト期間中) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	期末考査(授業内・または、テスト期間中)	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元5 3章 事業計画の立案 1 事業計画の概要 2 価格計画 3 流通計画 4 プロモーション計画 5 事業計画書の作成 【知識及び技能】 ・事業計画の目的に合わせて、一連の流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・価格の設定方法を理解している。 ・企業の事例を取り上げられている。 ・価格政策ごとに戦略に違いがあることに気付いている。 ・流通チャネルの種類と特徴から、流通計画について理解している。 ・企業におけるプロモーション活動の事例を取り上げ、それぞれの特徴を理解している。 ・科学的な根拠に基づいて事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を立案できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事業計画の各項目について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、事業計画書を主体的かつ協働的に作成している。 ・プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。 ・事業計画の立案について理解している。	商品開発と流通における事業計画について、その目的や手順について理解する。 競争環境や需要予測等に基づいた、価格の設定の考え方を理解する。 さまざまな価格政策について、企業における事例と関連付けて考察する。 流通チャネルの種類と特徴について理解する。 プロモーション計画について、企業における事例と関連付けて理解する。 事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を作成する。 作成した事業計画書を基にプレゼンテーションを行い、評価、改善を行う。	【知識・技能】 ・事業計画の目的に合わせて、一連の流れを理解している。 【思考・判断・表現】 ・価格の設定方法を理解している。 ・企業の事例を取り上げられている。 ・価格政策ごとに戦略に違いがあることに気付いている。 ・流通チャネルの種類と特徴から、流通計画について理解している。 ・企業におけるプロモーション活動の事例を取り上げ、それぞれの特徴を理解している。 ・科学的な根拠に基づいて事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を立案できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事業計画の各項目について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、事業計画書を主体的かつ協働的に作成している。 ・プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。 ・事業計画の立案について理解している。	○	○	○	12
	単元6 3章 事業計画の立案 1 事業計画の概要 2 価格計画 3 流通計画 4 プロモーション計画 6 事業計画書の作成 【知識及び技能】 ・事業計画の目的に合わせて、一連の流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・価格の設定方法を理解している。 ・企業の事例を取り上げられている。 ・価格政策ごとに戦略に違いがあることに気付いている。 ・流通チャネルの種類と特徴から、流通計画について理解している。 ・企業におけるプロモーション活動の事例を取り上げ、それぞれの特徴を理解している。 ・科学的な根拠に基づいて事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を立案できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事業計画の各項目について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、事業計画書を主体的かつ協働的に作成している。 ・プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。 ・事業計画の立案について理解している。	商品開発と流通における事業計画について、その目的や手順について理解する。 競争環境や需要予測等に基づいた、価格の設定の考え方を理解する。 さまざまな価格政策について、企業における事例と関連付けて考察する。 流通チャネルの種類と特徴について理解する。 プロモーション計画について、企業における事例と関連付けて理解する。 事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を作成する。 作成した事業計画書を基にプレゼンテーションを行い、評価、改善を行う。	【知識・技能】 ・事業計画の目的に合わせて、一連の流れを理解している。 【思考・判断・表現】 ・価格の設定方法を理解している。 ・企業の事例を取り上げられている。 ・価格政策ごとに戦略に違いがあることに気付いている。 ・流通チャネルの種類と特徴から、流通計画について理解している。 ・企業におけるプロモーション活動の事例を取り上げ、それぞれの特徴を理解している。 ・科学的な根拠に基づいて事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を立案できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事業計画の各項目について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、事業計画書を主体的かつ協働的に作成している。 ・プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。 ・事業計画の立案について理解している。	○	○	○	6

3 学 期	単元7 4章 商品の開発 1 商品仕様と詳細設計 2 プロトタイプ 3 商品とデザイン 実習 パッケージをデザインする 実習 ポスターをデザインする 4 ブランド 5 知的財産権の登録 【知識及び技能】 ・企業の事例を取り上げられている。 ・プロトタイプの種類と目的を理解している。 ・プロトタイプを用いたテストと評価により、課題を見つけ、改善する必要性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・市場調査から商品の企画に関する課題を発見する。 ・企業の事例を取り上げて、商品デザインの技法について分析できている。 ・パッケージについての考察が行えている。 ・パッケージデザインを作成できている。 ・コンピュータを用いて、ポスターデザインが行えている。 ・ブランドの機能、構成要素等を理解している。 ・知的財産権の内容や、手続き方法の違いを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・知的財産権の侵害について、科学的な根拠に基づいて、具体的な事例について分析、考察ができている。 ・商品の開発について理解している。	商品仕様と詳細設計について、企業における事例と関連付けて理解する。 プロトタイプの種類と目的について理解する。 プロトタイプを用いたテスト及び評価により、課題をあきらかにすることを理解する。 商品デザインの役割や要素、種類等について理解する。 商品デザインの技法について、具体的な事例と関連付けて分析する。 パッケージに必要な機能、要素等について考察し、パッケージデザインを行う。 コンピュータを用いて、ポスターのデザインを行う。 ブランドについて、機能、構成要素等を理解する。 知的財産権の内容、重要性について理解する。 偽ブランドや偽キャラクター商品等の知的財産権の侵害について、具体的な事例と関連付けて分析、考察する。	【知識・技能】 ・企業の事例を取り上げられている。 ・プロトタイプの種類と目的を理解している。 ・プロトタイプを用いたテストと評価により、課題を見つけ、改善する必要性を理解している。 【思考・判断・表現】 ・市場調査から商品の企画に関する課題を発見する。 ・企業の事例を取り上げて、商品デザインの技法について分析できている。 ・パッケージについての考察が行えている。 ・パッケージデザインを作成できている。 ・コンピュータを用いて、ポスターデザインが行えている。 ・ブランドの機能、構成要素等を理解している。 ・知的財産権の内容や、手続き方法の違いを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・知的財産権の侵害について、科学的な根拠に基づいて、具体的な事例について分析、考察ができている。 ・商品の開発について理解している。	○	○	○	12
	単元8 期末考査(授業内・または、テスト期間中) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	期末考査(授業内・または、テスト期間中)	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元9 5章 商品の販売 1 販売員活動 2 セールス・プロモーション 実習 商品の販売 【知識及び技能】 ・販売員活動におけるプロセス、役割等を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・企業の事例を取り上げ、顧客の購買心理に基づいたセールス・プロモーションが行われていることに気付いている。 ・流通とプロモーションについて、自ら学び、経済や消費者の動向を踏まえて、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・科学的な根拠に基づいて、実習計画を立案し、実施後に課題を見つけ、評価・改善している。 ・商品の販売について理解している。	販売員活動について、プロセス、役割等を理解する。 セールス・プロモーションについて理解し、企業における具体的な事例と関連付けて分類する。 実習に際して、流通とプロモーションに関する課題を発見する。 実習のための計画を立案して実施し、評価・改善を行う。	【知識・技能】 ・販売員活動におけるプロセス、役割等を理解している。 【思考・判断・表現】 ・企業の事例を取り上げ、顧客の購買心理に基づいたセールス・プロモーションが行われていることに気付いている。 ・流通とプロモーションについて、自ら学び、経済や消費者の動向を踏まえて、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・科学的な根拠に基づいて、実習計画を立案し、実施後に課題を見つけ、評価・改善している。 ・商品の販売について理解している。	○	○	○	8
	単元10 6章 商品開発と流通に関わる新たな展開 1 商品開発の新たな展開 2 流通の新たな展開 3 感覚を活かした商品開発・流通 【知識及び技能】 ・企業の事例を取り上げて、デザイン思考の商品開発について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報システムの変化が効果的・効率的な流通に結びついていることを理解している。 ・企業の事例を取り上げて考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・商品開発と流通に関わる新たな展開について理解している。	顧客ニーズの多様化から、デザイン思考について企業における具体的な事例と関連付けて理解する。 流通の新たな展開として情報システムの変化が流通に影響を及ぼしていることを理解する。 感覚を活かしたプロモーション活動等を、企業における事例と関連付けて考察する。	【知識・技能】 ・企業の事例を取り上げて、デザイン思考の商品開発について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・情報システムの変化が効果的・効率的な流通に結びついていることを理解している。 ・企業の事例を取り上げて考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・商品開発と流通に関わる新たな展開について理解している。	○	○	○	6
	単元11 学年末考査(授業内又はテスト期間中) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	学年末考査(授業内又はテスト期間中)	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
							合計
							70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 商業 科目 A_マーケティング

教 科： 商業 科 目： A_マーケティング 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 7 実教 商業718 マーケティング ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
マーケティングに関する基本的な概念や実務的な知識を体系的に理解し、関連する技術（市場分析、製品企画、プロモーション戦略など）を習得する。	マーケティングに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて問題を解決する能力を養う。創造的なアイデアや戦略を生み出し、それを論理的に表現する力を育む。	ビジネス環境においてマーケティングを効果的に活用する力を高め、マーケティングの課題に対して主体的かつ協働的に取り組む態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1 1章 マーケティングの概要 【知識及び技能】 マーケティングの基本的な概念と歴史、現代市場における適応方法を理解し、SWOT分析や市場環境分析などの技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 マーケティング戦略を論理的に分析し、創造的なアイデアを提案し、他者にわかりやすく表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 マーケティングの課題に対して積極的に学び、グループ活動やディスカッションを通じて協力的ながら学習に取り組む姿勢を育む。	(1)マーケティングの歴史と発展 ①マーケティングとは ②マーケティングの歴史的発展 (2)現代の市場とマーケティング ①優れたマーケティングの条件 ②現代市場に創造的に適応する (3)マーケティングの環境の分析 ①SWOT分析 ②内部環境分析 ③外部環境分析 (4)マーケティング・マネジメント ①重要性 ②プロセス	【知識・技能】 マーケティングの基本概念、歴史、市場分析手法（SWOT分析など）を理解し、マーケティング戦略に必要な知識を習得する。 【思考・判断・表現】 マーケティング課題を論理的に分析し、創造的に解決策を提案できる力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 マーケティングの知識を積極的に学び、グループ活動を通じて協力的に取り組む姿勢を育む。				6
	単元2 2章 消費者行動の理解 【知識及び技能】 消費者行動の基本的な概念、購買意思決定の過程、消費者の心理と行動の関係を理解し、消費者行動に影響を与える要因を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 消費者の意思決定過程を分析し、購買行動における心理的要因を論理的に考察し、具体的な事例を通じて表現する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 消費者行動を理解し、実生活における消費者の心理や行動に積極的に関心を持ち、学びを深める姿勢を育む。	(1)消費者の心理と行動の関係 ①問題解決のための購買 ②消費者の心理と購買意思決定 (2)購買意思決定過程 ①問題認識 ②情報探索 ③代替品評価 ④商品選択 ⑤購買後行動 (3)消費者行動に影響を与える要因 ①動機付け ②態度 ③関与 ④消費者間の影響	【知識・技能】 消費者行動に関する基本的な概念、購買意思決定の過程、消費者心理の理論を正確に理解し、適切に説明・応用できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 消費者行動に影響を与える要因を分析し、実際の事例に基づいてその影響を論理的に判断し、明確に表現できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 消費者行動について積極的に学び、授業やグループ活動に参加し、自己の理解を深めるために努力し、他者と協力して学習を進める姿勢を評価する。				5
	単元3 中間考査(授業内テスト)						1
	単元4 3章 市場調査 【知識及び技能】 市場調査の基本的な概念や手順、調査の種類（定性調査・定量調査）について理解し、仮説検証の方法や調査対象の選定方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 市場調査の手順に基づいて、仮説を立て、収集したデータを分析し、調査結果を論理的かつ適切に表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 市場調査に関する学びを積極的に深め、調査活動を通じて他者と協力し、自己の学びを広げる姿勢を育む。	(1)市場調査の概要 ①市場調査とは ②市場調査の種類 (2)市場調査の手順 (3)仮説検証の手順 ①予備調査 ②本調査 ③調査対象の選定 (4)実態調査の方法 ①定性調査とは ②定性調査の種類 ③定量調査とは ④定量調査の種類	【知識・技能】 市場調査の基本的な概念や手順、調査方法（定性調査・定量調査）の理解度と、それらを実務に適用する技能を評価する。 【思考・判断・表現】 仮説検証の手順を踏まえた調査計画や実施、データ分析の過程において、論理的に判断し、調査結果をわかりやすく表現する能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場調査に積極的に取り組み、グループワークやディスカッションを通じて主体的に学びを深め、協働して問題解決に向かう態度を評価する。				9

2 学 期	単元5 4章 S T P 【知識及び技能】 セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング（STP）の基本概念を理解し、それぞれの手法や変数、条件を習得する。ポジショニングの作成方法と創造的な方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 市場のセグメントを適切に選定し、ターゲット市場を分析・判断して、適切なポジショニング戦略を立案・表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 STP戦略の実務への適用に積極的に取り組み、グループでの協働学習やディスカッションを通じて他者と意見交換しながら学びを深める姿勢を育む。	(1)セグメンテーション ①概要 ②するための変数 ③有効になる条件 (2)ターゲティング ①概要 ②意義と注意点 (3)ポジショニング ①概要 ②作成 ③創造的なポジショニング	【知識・技能】 STPの基本的な概念（セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング）の理解度と、実際のマーケティング活動における技術の応用能力を評価する。 【思考・判断・表現】 セグメンテーションやターゲティングを基に、市場分析やポジショニング戦略を論理的に分析し、適切に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 STP戦略に関する学びに積極的に取り組み、ディスカッションやグループワークを通じて協力的に学び、主体的に取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	5
	単元6 期末考査(授業内テスト)			○	○	○	1
	単元7 5章 製品政策 【知識及び技能】 製品政策の基本的な概念や目的、製品分類の方法を理解し、新製品開発のプロセスや製品ミックスについて学ぶ。販売計画や生産計画の立案方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 市場や消費者のニーズに基づいて、製品政策や新製品開発戦略を分析し、売上予測や生産計画の作成方法を論理的に判断・表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 製品政策に関する学びを積極的に深め、他者との協力を通じて新製品開発や販売計画の立案に主体的に取り組む姿勢を育む。	(1)製品政策の概要 ①製品政策の目的 ②便益の束 ③マーケティングマイオピアを避ける ④製品の分類 (2)新製品開発 ①製品ミックス ②新製品開発の方針 ③新製品開発のプロセス (3)販売計画と生産計画 ①販売計画の立案 ②販売予測の必要性と考え方 ③市場需要を測定する方法 ④売上高を予測する方法 ⑤生産計画の立案 (4)製品政策の動向 ①ブランド ②共同開発	【知識・技能】 製品政策の目的や新製品開発プロセス、販売計画や生産計画に関する基本的な知識を理解し、実務に適用できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 市場分析を基に製品政策を適切に策定し、売上予測や生産計画を論理的に判断し、明確に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 製品政策に関する学習に積極的に取り組み、グループワークやディスカッションを通じて他者と協力し、学びを深める姿勢を評価する。	○	○	○	7
	単元8 6章 価格政策 【知識及び技能】 価格政策の基本概念、価格設定の種類や方法（コスト、競争、消費者心理、製品ミックスを考慮した設定）を理解し、価格設定に関する諸制度について習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 価格設定方法を実際の市場環境や消費者心理に基づいて分析し、適切な価格政策を立案・提案できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 価格政策に関する知識を積極的に学び、グループワークやディスカッションを通じて協力しながら価格設定戦略を実践的に学ぶ姿勢を育む。	(1)価格政策の概要 ①価格政策の目的 ②価格の種類 ③消費者にとっての価格 (2)価格の設定方法 ①コストに基づく価格設定 ②競争に基づく価格設定 ③消費者心理に基づく価格設定 ④新製品導入時の価格設定 ⑤製品ミックスを考慮した価格設定 ⑥価格設定に関する諸制度 (3)価格政策の動向 ①価格設定の新展開 ②キャッシュレス決済の新展開	【知識・技能】 価格政策の目的や価格設定方法について理解し、異なる価格設定アプローチを実務に応じて適用できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 市場動向や消費者心理を考慮し、具体的な状況に基づいた価格設定戦略を適切に分析・判断し、論理的に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 価格政策に関する学びに積極的に取り組み、実際のケーススタディやディスカッションに参加し、グループでの協力を通じて学習を深める姿勢を評価する。	○	○	○	7
	単元9 中間考査(授業内テスト)			○	○	○	1
	単元10 7章 チャネル政策 【知識及び技能】 チャネル政策の基本概念（直接流通、間接流通）、流通の機能について理解し、チャネルの選択や管理方法を習得する。また、ICTの進展やインターネット通販など、チャネル政策の最新動向を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 チャネルの長さや取引回数、選択と管理において、実際のビジネス環境を考慮して適切な戦略を立案・提案する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 チャネル政策に関する学びを深め、ICTやインターネット通販などの新しい流通手段に対して積極的に関心を持ち、学びを広げる姿勢を育む。	(1)チャネル政策の概要 ①直接流通と間接流通 ②流通の機能 (2)チャネルの選択と管理 ①チャネルの長さや取引回数 ②チャネルの選択 ③チャネルの管理 (3)チャネル政策の動向 ①I C Tの進展 ②製販連携の進展 ③インターネット通販の進展	【知識・技能】 チャネル政策に関する基本的な知識（流通の機能や種類）を理解し、実務において適切にチャネルの選択や管理方法を適用できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 市場や商品に最適な流通チャネルを選択し、管理するための戦略を分析し、論理的に判断・表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 チャネル政策の学習に積極的に取り組み、インターネット通販やICTの進展に関心を持ち、実際のビジネスでの応用を考えながら学びを深める姿勢を評価する。	○	○	○	7

	単元11 8章 プロモーション政策 【知識及び技能】 プロモーション政策の基本的な概念と具体的なプロモーション手法（広告、広報、セールス・プロモーションなど）を理解し、それぞれのプロモーション方法に対する消費者の反応を把握する。また、技術やメディアの変化に伴う新展開を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまなプロモーション手法の効果进行分析し、消費者の反応を予測したうえで、効果的なプロモーション戦略を立案・提案できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 プロモーション政策に関する知識を積極的に学び、最新の技術やメディアの変化に対応した新たな戦略を考える姿勢を育む。	(1) プロモーション政策の概要 ① 具体的なプロモーション ② プロモーションへの消費者の反応 (2) プロモーションの種類 ① 広告 ② 広報 ③ セールス・プロモーション ④ 販売員活動 ⑤ 統合型マーケティング・コミュニケーション (3) プロモーション政策の動向 ① メディアの変化による新展開 ② 技術の進化による新展開 ③ プロモーションに関する規制と倫理	【知識・技能】 プロモーション政策の基本概念（広告、広報、セールス・プロモーション）について理解し、実務において適切にプロモーション戦略を策定できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 異なるプロモーション手法を比較・分析し、それぞれの効果を論理的に判断し、適切な提案を行う能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 プロモーション政策に関する学習を積極的に深め、最新の技術やメディアの変化について関心を持ち、自らの学びに反映させる態度を評価する。	○	○	○	7
	単元12 期末考査(授業内テスト)			○	○	○	1
3 学 期	単元13 9章 マーケティングのひろがり 【知識及び技能】 さまざまなマーケティング戦略（製品ライフサイクル別、市場地位別）、サービスマーケティング、小売マーケティング、観光地マーケティング、グローバルマーケティング、ソーシャルマーケティングの基本概念を理解し、それぞれの戦略や特性を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 マーケティング戦略や手法を分析し、具体的な市場や状況に応じた戦略を立案し、適切に表現・提案する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 マーケティングの多様な領域について積極的に学び、実際の市場や社会における課題に対して創造的に取り組む姿勢を育む。	(1) さまざまなマーケティング戦略 ① 製品ライフサイクル別の戦略 ② 市場地位別の戦略 (2) サービス・マーケティング ① サービスの定義と特性 ② サービス・エンカウンター (3) 小売マーケティング ① 出店 ② 仕入計画 ③ 陳列 ④在庫管理 (4) 観光地マーケティング ① 観光地マーケティングの概要 ② 観光地マーケティングの課題 (5) グローバル・マーケティング ① 文化と消費者行動 ② 海外市場における戦略 (6) ソーシャル・マーケティング ① 非営利組織のマーケティング ② 社会的責任のマーケティング	【知識・技能】 各マーケティング戦略（製品ライフサイクル別、市場地位別など）や手法について理解し、適切に適用できる知識・技能を評価する。 【思考・判断・表現】 マーケティング戦略を状況に合わせて分析し、実際のケースに基づいた適切な戦略を提案し、論理的に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 マーケティングに関する学びを積極的に深め、さまざまな分野（小売、観光、グローバル、ソーシャルなど）における戦略に対して主体的に学び、グループ活動などを通じて協力する姿勢を評価する。	○	○	○	12
	単元14 学年末考査(授業内テスト)			○	○	○	1
							合計
							70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 商業 科目 A_ソフトウェア活用

教 科： 商業 科 目： A_ソフトウェア活用 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書： （ 7実教商業736 ソフトウェア活用 ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている	企業活動におけるソフトウェアの活用を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用主体的かつ協働的に取り組もうとしている

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元1 1章 企業活動とソフトウェアの活用 【知識及び技能】 ソフトウェアの意義と重要性について考え、理解することができたか 【思考力、判断力、表現力等】 ソフトウェアの意義や役割を考え、具体的な利用例を理解することができたか 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	身近な事例を基にビジネスにおけるソフトウェアの活用を考える学習活動により、ソフトウェアの意義と重要性を理解する ソフトウェアの活用を考えた学習活動により、ソフトウェアの操作を理解し活用する ソフトウェアの活用を考える学習活動により、ソフトウェアの意義と重要性を理解する ソフトウェアの意義と重要性を理解し、創造的な視点で取り組み、協同的な活動を行う	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	4
単元2 2節 ビジネスにおけるソフトウェアの進化 【知識及び技能】 ソフトウェアの進化が、社会の変化に与える影響を考える学習活動により、関連する知識を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 Society5.0が実現しようとしている社会について考察し、ソフトウェアの活用例と目的を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	身近な事例を基にビジネスにおけるソフトウェアの活用を考える学習活動により、ソフトウェアの意義と重要性を理解する IoT, AI, BDについて理解するとともに、関連するソフトウェア技術の活用と社会課題について、その関連性を考察しようとしている ソフトウェアの意義と社会課題について、様々な社会活動と関連付けてみだせる ソフトウェアとビジネスや社会課題との関連について自ら学び、適切に活用し、主体的かつ協働的に取り組もうとしている	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	4
単元3 2章 情報通信ネットワークの活用 情報通信ネットワークの導入と運用 【知識及び技能】 ネットワーク機器の機能や情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータやプリンタをLANやインターネットに接続する基礎的な方法や、システム障害に対処するための基本的な技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	身近な事例を基にビジネスにおけるソフトウェアの活用を考える学習活動により、ソフトウェアの意義と重要性を理解する ネットワーク機器の機能や情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について理解する コンピュータやプリンタを適切にLANやインターネットに接続するための基礎的な方法等を理解し考察する 情報通信ネットワークのシステム障害に対処するための基本的な技術について理解している	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	3

学期	単元4 2章 情報通信ネットワークの活用 情報通信ネットワークの導入と運用 【知識及び技能】 ネットワーク機器の機能や情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータやプリンタをLANやインターネットに接続する基礎的な方法や、システム障害に対処するための基本的な技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	身近な事例を基にビジネスにおけるソフトウェアの活用を考える学習活動により、ソフトウェアの意義と重要性を理解する ネットワーク機器の機能や情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について理解する コンピュータやプリンタを適切にLANやインターネットに接続するための基礎的な方法等を理解し考察する 情報通信ネットワークのシステム障害に対処するための基本的な技術について理解している	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	5
	単元5 2節 情報資産の保護 【知識及び技能】 ソフトウェアの脆弱性への対応や、無停電電源装置の活用などのリスクを適切に管理する方法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ファイルとフォルダのアクセス権の設定や、暗号化の種類、バックアップなどについての基本的な技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	情報資産を保護するため、ソフトウェアの脆弱性への対応や、無停電電源装置の活用などのリスクを適切に管理する方法について理解する 情報資産を保護するため、ソフトウェアの脆弱性への対応や、無停電電源装置の活用などのリスクを適切に管理する方法について理解する ファイルとフォルダのアクセス権の設定や、暗号化の種類、バックアップなどについての基本的な技術について理解している	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	5
	単元6 3章 表計算ソフトウェアの活用 【知識及び技能】 表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 様々な集計や分析方法、集計した情報から、分析結果を適切に表現する能力を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析 表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解する 様々な方法で分析する能力を身に付けるとともに、分析結果を適切に表現する 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	4
	単元7 2節 表計算ソフトウェアを用いたオペレーションズ・リサーチ 【知識及び技能】 表計算ソフトウェアを通して、オペレーションズ・リサーチの基礎を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて適切な手法を活用する技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	表計算ソフトウェアを通して、オペレーションズ・リサーチの基礎について理解する 目的に応じて適切な手法を活用する技術を身に付ける 適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	4
	単元8 3節 手続きの自動化 【知識及び技能】 マクロの記録機能を用いて、手続きの自動化の考え方を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 手続きの自動化の考え方を理解し、基本的な技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	マクロの記録機能を用いた、手続きの自動化について理解する マクロの記録機能を用いた、手続きの自動化について理解する マクロの記録機能を用いた、手続きの自動化について理解する 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	5
	単元9 4章 データベースソフトウェアの活用 【知識及び技能】 1節 ビジネスとデータベースを活用する 【思考力、判断力、表現力等】 データベースソフトウェアの活用し効果的な運用を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	データベースの特徴や基本的な機能を理解する データベースの特徴や基本的な機能を理解し活用できているか データベースの特徴や基本的な機能を理解し考察できたか 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	4

2 学 期	単元10 データベースの作成と操作する 【知識及び技能】 データベースの作成と操作技術を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 データベースの作成と操作技術に関する考察をし表現する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	データベースソフトウェアを活用する データベースソフトウェアを活用した上で、操作できたか データベースソフトウェアを活用した考察をし表現できたか 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	5
	単元11 3節 手続きの自動化 【知識及び技能】 データベースの構造を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 表を正規化するための手順を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	フォームを用い、手続きを登録する方法を理解する 表を正規化するための手順を理解する データベースの表やデータ構造など基本的な知識を理解する 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	5
	単元12 業務処理用ソフトウェアの活用 1節 グループウェアの活用 【知識及び技能】 販売管理ソフトウェアの活用ができたか 【思考力、判断力、表現力等】 3節 給与計算ソフトウェアの活用ができたか 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	グループウェアを活用することの利点と、グループウェアを活用して効率的に業務を行う方法について理解する 販売管理ソフトウェアを活用することの利点と、販売管理ソフトウェアを活用して効率的に業務を行う方法について理解する 販売管理ソフトウェアを活用することの利点と、販売管理ソフトウェアを活用して効率的に業務を行う方法について理解する 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	5
3 学 期	単元13 6章 情報システムの開発 1節 システム開発の基礎 【知識及び技能】 情報システムの開発 システム開発の基礎を理解できたか 【思考力、判断力、表現力等】 情報システムの開発 システム開発の基礎を理解できたか 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	情報システムの開発に関する基礎的な知識、技術について実務に即して理解する 表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアによる情報システムの開発と関連付けて理解を深める 表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアによる情報システムの開発と関連付けて理解を深める 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	6
	単元14 2節 アルゴリズムの基礎 【知識及び技能】 アルゴリズムの基礎を理解できたか 【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムの基礎を理解できたか 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	情報システムの開発の中でのプログラミングにおいて、コンピュータに指示を出すための手順を理解する アルゴリズムについての基礎的な技術や、プログラミングに必要な関連する知識、技術を身に付ける アルゴリズムについての基礎的な技術や、プログラミングに必要な関連する知識、技術を身に付ける 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	5
	単元15 3節 情報システムの開発演習 【知識及び技能】 情報システムの開発演習を実践できたか 【思考力、判断力、表現力等】 情報システムの開発演習を実践できたか 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアのプログラミング機能を利用する 簡易な情報システムの開発を通して、企業活動の改善を科学的な根拠に基づいて、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身に付ける 簡易な情報システムの開発を通して、企業活動の改善を科学的な根拠に基づいて、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身に付ける 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	3

単元16 3節 情報システムの開発演習 【知識及び技能】 情報システムの開発演習を実践で きたか 【思考力、判断力、表現力等】 学習にあたって、自ら学び主体的 かつ協働的に取り組む態度を身に 付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的 かつ協働的に取り組む態度を身に 付ける	表計算ソフトウェアやデータベース ソフトウェアのプログラミング 機能を利用する kbb 簡易な情報システムの開発を通し て、企業活動の改善を科学的な根 拠に基づいて、主体的かつ協働的 に取り組む姿勢を身に付ける 主体的かつ協働的に取り組むこと ができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用につ いて理解しているとともに、関連する知識 を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目 的について認識し、企業活動と関連付けて 考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進 化について、自ら学び、主体的かつ協働的 に取り組んでいる	○	○	○	3
合計						
70						

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 商業 科目 A_ビジネス文書 I

教 科： 商業 科 目： A_ビジネス文書 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
タッチタイピングを習得し、正確に入力することができる。 企業活動においてワープロソフトを活用して、情報を適切に処理することができる。	効率よく業務を遂行するための創意・工夫を見出だすことができる。 企業活動において、適切な書類の作成をするよう思考し、判断することができる。	検定取得など目標を明確に持って、取り組むことができる。 与えられた課題に対して、自ら学ぼうとし、努力することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1 ワープロソフトの基本 【知識及び技能】 タッチタイピングのホームポジションを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 タッチタイピングを習得しようと意欲をもって取り組む。	タッチメソッドの基本 ・ホームポジションを習得する ・正確にキータッチする ワープロソフトの基本 ・ワープロソフトの基本設定 ・文字の入力 ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定	【知識・技能】 タッチタイピングのホームポジションを理解することができる。 【思考・判断・表現】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 タッチタイピングを習得しようと意欲をもって取り組むことができる。	○	○	○	6
	単元2 ワープロソフトの基本 【知識及び技能】 タッチタイピングのホームポジションを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 タッチタイピングを習得しようと意欲をもって取り組む。	タッチメソッドの基本 ・タッチメソッドの習得 ・正確にキータッチする ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定	【知識・技能】 タイピングを正確にタッチすることができる。 ワープロソフトの応用機能を使うことができる。 【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	6
	単元3 ワープロソフトの基本 【知識及び技能】 タッチタイピングを習得する。 ワープロソフトの機能を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 検定合格に向け意欲をもって取り組む。	タッチメソッドの基本 ・タッチメソッドの習得 ・正確にキータッチする ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定 検定問題の取組み ・関連知識の習得 ・時間を意識したタイピング ・問題に即した文書作成技術	【知識・技能】 タイピングを正確にタッチすることができる。 ワープロソフトの応用機能を使うことができる。 【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	6
	単元4 ワープロソフトの基本 【知識及び技能】 タッチタイピングを習得する。 ワープロソフトの機能を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 検定合格に向け意欲をもって取り組む。	タッチメソッドの基本 ・タッチメソッドの習得 ・正確にキータッチする ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定 検定問題の取組み ・関連知識の習得 ・時間を意識したタイピング ・問題に即した文書作成技術	【知識・技能】 タイピングを正確にタッチすることができる。 ワープロソフトの応用機能を使うことができる。 【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	6

2 学 期	単元5 ワープロソフトの基本 【知識及び技能】 タッチタイピングを習得する。 ワープロソフトの機能を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 検定合格に向け意欲をもって取り組む。	タッチメソッドの基本 ・タッチメソッドの習得 ・正確にキータッチする ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定 検定問題の取組み ・関連知識の習得 ・時間を意識したタイピング ・問題に即した文書作成技術	【知識・技能】 タイピングを正確にタッチすることができる。 ワープロソフトの応用機能を使うことができる。 【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	6
	単元6 ワープロソフトの基本 【知識及び技能】 タッチタイピングを習得する。 ワープロソフトの機能を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 検定合格に向け意欲をもって取り組む。	タッチメソッドの基本 ・タッチメソッドの習得 ・正確にキータッチする ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定 検定問題の取組み ・関連知識の習得 ・時間を意識したタイピング ・問題に即した文書作成技術	【知識・技能】 タイピングを正確にタッチすることができる。 ワープロソフトの応用機能を使うことができる。 【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	8
	単元7 ワープロソフトの基本 【知識及び技能】 タッチタイピングを習得する。 ワープロソフトの機能を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 検定合格に向け意欲をもって取り組む。	タッチメソッドの基本 ・タッチメソッドの習得 ・正確にキータッチする ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定 検定問題の取組み ・関連知識の習得 ・時間を意識したタイピング ・問題に即した文書作成技術	【知識・技能】 タイピングを正確にタッチすることができる。 ワープロソフトの応用機能を使うことができる。 【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	8
	単元8 企業活動における文書作成 【知識及び技能】 社外文書・社外文書のそれぞれの目的や違いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社外文書・社外文書のそれぞれの目的や違いを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 検定合格に向け意欲をもって取り組む。	各種文書の作成 ・社内文書の種類と違い ・社外文書の種類と違い ・取引文書の種類と作成 ・メールの文書 検定問題の取組み ・関連知識の習得 ・時間を意識したタイピング ・問題に即した文書作成技術	【知識・技能】 社外文書・社外文書のそれぞれの目的や違いを理解することができる。 【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	6
3 学 期	単元9 企業活動における文書作成 【知識及び技能】 各種文書の用途や違いを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 文書の校正作業を自ら判断し作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつ	各種文書の作成 文書の構成 文書の校正作業	【知識・技能】 各種文書の用途や違いを理解することができる。 【思考・判断・表現】 文書の校正作業を自ら判断し作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつことができる。	○	○	○	6
	単元10 企業活動における文書作成 【知識及び技能】 各種文書の用途や違いを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 文書の校正作業を自ら判断し作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつ	各種文書の作成 文書の構成 文書の校正作業	【知識・技能】 各種文書の用途や違いを理解することができる。 【思考・判断・表現】 文書の校正作業を自ら判断し作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつことができる。	○	○	○	6
	単元11 企業活動における文書作成 【知識及び技能】 各種文書の用途や違いを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 文書の校正作業を自ら判断し作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつ	案内文の作成 企画書の作成 文書の校正作業	【知識・技能】 各種文書の用途や違いを理解することができる。 【思考・判断・表現】 文書の校正作業を自ら判断し作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつことができる。	○	○	○	6
							合計
							70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 商業 科目 B_ビジネス・コミュニケーション
 教科：商業 科目： B_ビジネス・コミュニケーション 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 2 学年 A 組～ E 組
 教科担当者：
 使用教科書：（ 7実教 商業007-902 ビジネス・コミュニケーション ）
 教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスにおけるコミュニケーションについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおいてコミュニケーションを図ることに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	単元1 企業の組織と意思決定 【知識及び技能】 企業の組織と意思決定を理解させる 実践的なスキルの習得させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力の向上させる 論理的な判断を強化させる 効果的なコミュニケーションスキル考えさせる 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学習態度を促進させる チームワークと協力の重要性を理解させる 倫理観と責任感の育成させる	企業の組織と意思決定 業務の進行方法 仕事に対する心構え 人的ネットワークの構築	【知識・技能】 基礎的な知識の習得と専門的なスキルの向上を評価する。 【思考・判断・表現】 論理的思考、問題解決能力、効果的なコミュニケーションスキルを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学習態度、協調的性やリーダーシップ、倫理観や社会的責任感を評価する。	○	○	○	7
	単元2 応対に関するビジネスマナー 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる 実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	挨拶、身だしなみ・表情・身のこなし 言葉遣い、名刺交換と紹介 訪問・来客の対応、電話の応対 席次のマナー	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	14
	単元3 交際に関するビジネスマナー 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる 実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	交際のマナー 食事のマナー	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	8
	単元4 交際に関するビジネスマナー 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる 実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	接客 ホスピタリティの概念と重要性	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	6

2 学期	単元5 コミュニケーションの役割と思考方法 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	コミュニケーションの役割と種類、ビジネスコミュニケーションの基本 ビジネスにおける思考方法、ディベート	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたか。を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	6
	単元6 ビジネスにおけるコミュニケーション 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	ディスカッション、プレゼンテーション、交渉 苦情処理、商品説明とワーク ショップ、 ソーシャルメディアを活用した情報発信	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたか。を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	6
	単元7 コミュニケーションとビジネススキル 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	会議、文書におけるコミュニケーション	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたか。を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	2
3 学期	単元8 企業活動のグローバル化 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	国際化の発展とビジネス 国際ビジネスにおけるコミュニケーション	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたか。を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	5
	単元9 ビジネスの会話 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	国内での接客、入国 商談と会議、帰国	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたか。を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	6
	単元10 ビジネス文書と電子メール 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	ビジネスレター、電子メールの利用 貿易取引、ビジネス文書	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたか。を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	4

単元11 ビジネスにおけるプレゼンテーション 【知識及び技能】 基礎的な知識や技術を習得させる 実践的な課題や演習による理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力を養う ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自主的な学びの姿勢を育む チームワークやコミュニケーション能力を高める	プレゼンテーションの構成、プレゼンテーションの作成	【知識・技能】 基礎的な知識や技術を習得できたか。実践的な課題や演習による理解できたかを評価する。 【思考・判断・表現】 問題解決能力を養うことができたか。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現力を高めることができたか。を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的な学びの姿勢を育めたか。チームワークやコミュニケーション能力を高めることができたかを評価する。	○	○	○	6
						合計
						70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 商業 科目 B_原価計算

教 科： 商業 科 目： B_原価計算 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 190東法 商業721 原価計算 ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
原価計算、原価計算に関する会計処理および原価情報の活用に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連づけられ、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身についている。	唯一絶対の答えがないことの多い経済社会にあって、原価計算をはじめとしたさまざまな知識、技術などを活用し、原価計算、原価計算に関する会計処理および原価情報の活用の方法の妥当性と実務に適用することにもなる課題を見いだすとともに、原価情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、原価計算に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠にもとづいて工夫してよりよく課題に対応する力が身についている。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力および適切な原価管理をおこなう力の向上を目指してみずから原価計算について学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にに関わり、適切な原価の費目別計算、部門別計算、製品別計算などによる原価情報の提供と効果的な活用に責任をもって取り組む態度が身についている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1 1 原価と原価計算 2 原価計算のあらまし 3 工業簿記 【知識及び技能】 工業簿記と原価計算の関係、種類を理解し、記帳方法と原価計算の基本を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 原価計算の種類と工業簿記の記帳方法を適切に判断し、整理して表現できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 原価計算と工業簿記を理解し、実務に役立つ知識を学び続ける姿勢を育む。	・工業簿記と原価計算の関係を理解させる。 ・原価計算の種類を理解させる。 ・工業簿記の一連の記帳方法を説明し、全体的構造を理解させる。 ・原価計算の種類 ・工業簿記の一連の記帳	【知識・技能】 原価計算の基本概念、工業簿記の記帳方法を理解し、適切に実践できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 原価計算の各種類を適切に判断し、工業簿記の記帳を正確に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 原価計算や工業簿記に関する理解を深め、積極的に学習を進める姿勢を評価する。	○	○	○	6
	単元2 4 材料費の計算と記帳 1 4 材料費の計算と記帳 2 【知識及び技能】 材料の消費と記帳方法について理解し、実際の計算や記帳手順を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 材料費の計算方法を適切に判断し、記帳の手順を論理的に表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 材料費の計算と記帳を学び、実務に応用するために積極的に学ぶ姿勢を育む。	・材料の消費と記帳方法について理解させる。 ・材料の消費と記帳方法	【知識・技能】 材料の消費と記帳方法を理解し、実際に計算および記帳が正確にできる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 材料費の計算方法を正しく判断し、その手順を適切に表現できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 材料費計算の学習に積極的に取り組み、実務への応用を目指して自主的に学ぶ姿勢を評価する。	○	○	○	4
	単元3 5 労務費の計算と記帳 1 5 労務費の計算と記帳 2 【知識及び技能】 労務費の分類とその内容を理解し、賃金の消費とその記帳方法を正確に学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 労務費の計算方法や記帳方法を理解し、実際の事例に基づいて正確な記帳ができる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 労務費の重要性とその計算方法を社会のビジネス実務に関連付けて積極的に学ぶ姿勢を育成する。	・労務費の分類とその内容を理解させる。 ・賃金の消費と記帳方法のついて理解させる。	【知識・技能】 労務費の分類と賃金の消費・記帳方法についての知識を習得し、実際の計算と記帳ができる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 労務費に関連する課題を分析し、正しい計算方法と記帳手順を実行できる論理的思考力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 労務費の計算と記帳について、実践的に学び、積極的に学習に取り組む、向上心を持って取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	4

2 学 期	単元4 6 経費の計算と記帳 【知識及び技能】 経費の分類とその計算方法、記帳方法を正確に理解し、実務に即した計算能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 経費の消費高を正確に計算し、適切な記帳方法を使って業務で活かす力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 経費の重要性を理解し、正確な計算と記帳を通じて、自己管理能力を高める姿勢を育成する。	・経費の意味と分類を理解させる。 ・経費の消費高の計算方法と記帳方法について理解させる。	【知識・技能】 経費の意味、分類、計算方法、記帳方法についての知識を理解し、課題に対して正確に対応できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 経費の消費高を分析し、計算手順を論理的に組み立て、実践的に記帳する能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 経費の計算や記帳に対して積極的に学び、自己管理能力を発揮し、学び続ける態度を評価する。	○	○	○	4
	単元5 7 個別原価計算 【知識及び技能】 個別原価計算の仕組みと配賦方法を理解し、原価計算表の記入方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 予定配賦率を用いて適切に原価配賦を行い、計算結果を論理的に説明できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 経理業務の重要性を理解し、自己の計算結果に責任を持って取り組む姿勢を育成する。	・個別原価計算のしくみを理解させる。 ・原価計算表の記入方法を理解させる。 ・予定配賦率による配賦を理解させる。	【知識・技能】 個別原価計算の基本的な仕組みと配賦方法、原価計算表の記入方法が正確にできるかを評価する。 【思考・判断・表現】 予定配賦率を使った原価計算の適切さ、計算結果に基づいた論理的な説明力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 原価計算に対して積極的に学び、自己管理能力を発揮し、計算業務に責任感を持って取り組む態度を評価する。	○	○	○	4
	単元6 8 部門別個別原価計算 【知識及び技能】 部門別個別原価計算の仕組みと部門費配分表・振替表の作成方法を習得し、仕訳を正確に行う。 【思考力、判断力、表現力等】 部門別原価計算に基づき、費用配分を行い、結果を的確に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 計算過程を論理的に整理し、チームで協力して課題に取り組む姿勢を養う。	・部門別個別原価計算のしくみを理解させる。 ・部門費配分表・部門費振替表を作成させ、それぞれにもとづく仕訳を習得させる。	【知識・技能】 部門別原価計算の仕組み、部門費配分表・振替表の作成が正確にでき、適切な仕訳ができるかを評価。 【思考・判断・表現】 部門別原価計算における費用配分の妥当性を理解し、結果を論理的に説明できる力を評価。 【主体的に学習に取り組む態度】 部門別原価計算に対して積極的に学び、協力して作成した資料や結果に責任を持って取り組む態度を評価。	○	○	○	4
	単元7 9 総合原価計算 1 【知識及び技能】 個別原価計算と総合原価計算の違いを理解し、総合原価計算の種類を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 総合原価計算の各種類を適切に使い分け、その特性を説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 計算方法を自主的に学び、問題解決のために積極的に取り組む姿勢を養う。	・個別原価計算と総合原価計算の違いを明らかにする。 ・総合原価計算の種類を理解させる。	【知識・技能】 総合原価計算の種類を理解し、計算の違いとその適用方法を正確に実行できることを評価。 【思考・判断・表現】 総合原価計算に関する知識を活用し、実際の問題に適用し説明する能力を評価。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら学習し、課題に対して積極的に取り組み、グループで協力しながら解決策を考える態度を評価。	○	○	○	2
	単元8 9 総合原価計算 2 【知識及び技能】 単純総合原価計算の種類と月末仕掛品原価の計算方法を理解し、適切に計算できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 月末仕掛品の原価計算方法を用いて、計算過程を説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に学び、計算問題を解決するために積極的に取り組む態度を養う。	・単純総合原価計算の種類を理解させる。 ・月末仕掛品原価の計算方法について説明し、理解させる。	【知識・技能】 単純総合原価計算の種類と月末仕掛品原価の計算方法を理解し、適切に計算できることを評価。 【思考・判断・表現】 総合原価計算の手法を活用し、実際の問題に適用し正確に計算過程を説明する能力を評価。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら学習に取り組み、課題解決に向けて積極的に発表・議論し、協力して学ぶ態度を評価。	○	○	○	5
	単元9 9 総合原価計算 3 【知識及び技能】 等級別総合原価計算と組別総合原価計算の方法を理解し、適切に実施できる。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな原価計算方法を活用し、実際の原価計算問題を解決する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に問題解決に取り組み、自己学習を深める姿勢を育む。	・等級別総合原価計算を理解させる。 ・組別総合原価計算を理解させる。	【知識・技能】 等級別および組別総合原価計算の方法を理解し、正確に計算を行えるかを評価。 【思考・判断・表現】 計算問題において、原価計算方法を適用し、説明できるかどうかを評価。 【主体的に学習に取り組む態度】 自発的に学び、課題に積極的に取り組み、解決策を見出す努力を評価。	○	○	○	3

3 学 期	単元10 10 工程別総合原価計算 【知識及び技能】 工程別総合原価計算の意味・目的、計算手順を理解し、適切に記帳できる。 【思考力、判断力、表現力等】 工程別原価計算の実践問題を解決し、他の方法との違いを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで計算手順を習得し、計算ミス減らすための努力を積極的に行う。	・工程別総合原価計算の意味と目的を理解させる。 ・工程別総合原価計算の手続きと記帳方法を理解させる。	【知識・技能】 工程別総合原価計算の目的や手続き、記帳方法を理解し、正確に記帳できるかを評価。 【思考・判断・表現】 実際の原価計算問題に取り組み、理解を深め、適切な方法を選択・適用できるかを評価。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら進んで課題に取り組み、誤りを修正するために繰り返し学習を行う態度を評価。	○	○	○	4
	単元11 11 製品の完成と販売 12 決算と本社・工場間の取引 【知識及び技能】 製品の完成と販売に伴う手続き、記帳方法、製造原価報告書の作成方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本社・工場間の取引と関連した原価計算の手続きについて、考察し説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 複雑な原価計算の仕訳や報告書作成に積極的に取り組み、理解を深めようとする姿勢を育む。	・製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法を理解させる。 ・製造原価報告書の作成方法について理解させる。 ・工場会計の独立と、その記帳方法について理解させる。	【知識・技能】 製品の完成と販売に伴う記帳、製造原価報告書作成の手順を理解し、正確に処理できるか評価。 【思考・判断・表現】 工場会計の独立性や本社・工場間の取引の記帳に関する問題解決能力を評価。 【主体的に学習に取り組む態度】 複雑な原価計算作業や報告書作成を進んで学び、実践を通じて自らの理解を深める態度を評価。	○	○	○	4
	単元12 13 標準原価計算 【知識及び技能】 標準原価計算の意義、計算方法、原価差異の分析方法を習得し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 標準原価と実際の原価との差異を分析し、問題点を説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 標準原価計算に基づいた原価管理に積極的に取り組み、自己学習する態度を養う。	・標準原価計算の意義と特色、全体的な流れを理解させる。 ・完成品と仕掛品の標準原価による計算方法を理解させる。 ・原価差異の計算とその分析方法を理解させる。	【知識・技能】 標準原価計算に関する基礎知識と実際の計算能力、原価差異の理解度を評価する。 【思考・判断・表現】 差異分析を通して問題解決の能力を評価し、改善策の提案や判断力を重視する。 【主体的に学習に取り組む態度】 標準原価計算に関する実務的な問題に対して積極的にアプローチし、理解を深める姿勢を評価。	○	○	○	8
	単元13 14 直接原価計算 1 【知識及び技能】 直接原価計算の基本的な意義と特徴、計算方法を理解し、利益計画に役立つことを習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 CVP分析を通して、利益計画や意思決定における原価計算の役割を評価し、実務的な判断ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 直接原価計算を積極的に活用し、実際の経営計画や問題解決に取り組む姿勢を養う。	・直接原価計算の意義と特色を理解させる。 ・直接原価計算が利益計画に適していることを理解させる。 ・直接原価計算による損益計算書の作成方法を理解させる。 ・CVP分析を理解させる。	【知識・技能】 直接原価計算の意義、損益計算書の作成方法、CVP分析の理解度を基に、計算問題を正確に解く能力を評価。 【思考・判断・表現】 直接原価計算とCVP分析を活用した問題解決能力を重視し、理論に基づいた合理的な解答を出す力を評価。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分で問題解決に取り組む力や、経営計画に関する知識を活かし、実務的な問題に挑戦する姿勢を評価。	○	○	○	6
	単元14 全商簿記実務検定試験 1 級原価計算受験演習 【知識及び技能】 原価計算の全範囲を復習し、検定試験に必要な理論と計算技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 実際の試験問題に基づき、計算問題の正確な解答方法と時間管理能力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 試験に向けて積極的に復習し、自己の学習進捗に責任を持ちながら取り組む姿勢を養う。	・復習および答案演習（全範囲）	【知識・技能】 試験範囲の全ての原価計算に関する問題に対して、正確かつ迅速に解答できる力を評価する。 【思考・判断・表現】 計算問題を解く際の論理的思考力、及び試験本番での判断力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 復習に対して積極的に取り組み、自己管理能力を発揮して試験準備を進める姿勢を評価する。	○	○	○	7
	単元15 日商簿記検定 2 級（原価計算） 【知識及び技能】 日商簿記 2 級の原価計算に関する過去問題を解き、解答技術と計算スピードを向上させる。 【思考力、判断力、表現力等】 過去問題を分析し、出題傾向に対応できるように解法のパターンを理解し、解答力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に過去問題に取り組み、反復練習を通じて自己学習の習慣を確立する。	・過去問題を解答し、分析をおこなう。	【知識・技能】 過去問題に基づき、計算問題を正確に解答する技能を評価し、知識の定着度を確認する。 【思考・判断・表現】 複雑な問題に対して論理的に解答方法を選び、効率的に解答できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に過去問題を解くことで、自己改善の意欲を持ち、計画的に学習を進める姿勢を評価する。	○	○	○	5
							合計
							70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 商業 科目 B_商品と流通

教 科： 商業 科 目： B_商品と流通 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書： （ 7 実教 商業732 商品開発と流通 ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解し、商品の企画からプロモーションまでの様々な場面で役に立つ商品開発に関する知識と、流通の立場から捉えた取引対象としての商品に関する知識を身に付けている。	商品開発と流通をはじめとした様々な知識や情報などを活用し、商品開発と流通の動向や課題を発見するとともに、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、科学的な根拠に基づいて商品開発と流通に関する計画を立案したり、提案したりしている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら商品開発と流通について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、商品開発と流通に関する学習活動に責任をもって取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	単元1 Introduction 1なぜ商品開発と流通は行われるのか？ 2なぜ『商品開発と流通』を学ぶのか？ 1章 商品開発と流通の概要 1 私たちの生活と商品 2 商品開発の意義と手順 3 商品と流通との関わり 【知識及び技能】 ・商品開発と流通が一連のものであることを理解させる。 ・『商品開発と流通』の学習内容について理解させる。 ・現代市場における商品開発と流通の概要について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場の特徴と関連付けて、商品開発の意義と課題を見出すことができる。 ・商品開発の手順とともに、学習計画が立てられている。 ・商品と流通との関わりについて、具体的な事例と関連付けながら、思考できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済や消費者の動向について自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組んませる。 ・商品開発の流れを理解させる。	日常生活を送るために、商品は必要不可欠なものであり、それを入手するためには流通も重要であることを理解する。 『商品開発と流通』の概要を理解する 商品の成り立ちおよびその捉え方について理解する。 商品開発の意義、新商品の捉え方、商品ライフサイクルについて理解する。 商品開発の手順について理解し、学習の見通しをたてる。 流通の仕組みについて、事例を調査して考察する。 市場環境とマーケティングの変化、流通チャネルの多様化について理解する。	【知識・技能】 ・商品開発と流通が一連のものであることを理解している。 ・『商品開発と流通』の学習内容について理解している。 ・現代市場における商品開発と流通の概要について理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代市場の特徴と関連付けて、商品開発の意義と課題を見出すことができる。 ・商品開発の手順とともに、学習計画が立てられている。 ・商品と流通との関わりについて、具体的な事例と関連付けながら、思考できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・経済や消費者の動向について自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組んでいる。 ・商品開発の流れを理解している。	○	○	○	7

1 学 期	単元2 1章 商品開発と流通の概要 1 私たちの生活と商品 2 商品開発の意義と手順 3 商品と流通との関わり 【知識及び技能】 - 商品開発と流通が一連のものであることを理解させる。 『商品開発と流通』の学習内容について理解させる。 - 現代市場における商品開発と流通の概要について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 現代市場の特徴と関連付けて、商品開発の意義と課題を見出すことができる。 - 商品開発の手順とともに、学習計画が立てられている。 - 商品と流通との関わりについて、具体的な事例と関連付けながら、思考できている。 【学びに向かう力、人間性等】 - 経済や消費者の動向について自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組ませる。 ・商品開発の流れを理解させる。	日常生活を送るために、商品は必要不可欠なものであり、それを入力するためには流通も重要であることを理解する。 『商品開発と流通』の概要を理解する 商品の成り立ちおよびその捉え方について理解する。 商品開発の意義、新商品の捉え方、商品ライフサイクルについて理解する。 商品開発の手順について理解し、学習の見通しをたてる。 流通の仕組みについて、事例を調査して考察する。 市場環境とマーケティングの変化、流通チャネルの多様化について理解する。	【知識・技能】 - 商品開発と流通が一連のものであることを理解している。 『商品開発と流通』の学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 - 現代市場における商品開発と流通の概要について理解している。 - 現代市場の特徴と関連付けて、商品開発の意義と課題を見出すことができる。 - 商品開発の手順とともに、学習計画が立てられている。 - 商品と流通との関わりについて、具体的な事例と関連付けながら、思考できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 経済や消費者の動向について自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組んでいる。 ・商品開発の流れを理解している。	○	○	○	6
	単元3 2章 商品の企画 1 環境分析と意思決定の準備 2 市場調査 3 商品コンセプトの策定 4 商品企画の提案 【知識及び技能】 - 企業の事例を取り上げられている。 - マクロ分析、ミクロ分析の技術が身に付いている。 - 商品ライフサイクルおよびSTPについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 - 市場調査から商品の企画に関する課題を発見する。 - ブレンスティングなどの技法を用いて、アイデアの創出が行えている。 - アイデア創出に当たり、主体的かつ協働的な取り組みを行っている。 【学びに向かう力、人間性等】 - 商品の企画について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、商品の企画に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 - プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。 - 実習に積極的に取り組んでいる。 - 商品の企画について理解している。	商品の企画に必要な環境分析について、企業における事例と関連付けて理解する。 商品開発の方針を策定し、標的市場を整理して開発する商品テーマを決定することを理解する。 環境分析に基づいて、市場調査を行い、そこから商品の企画に関する課題を発見する。 商品コンセプトの内容について理解するとともに、ブレンスティングなどの技法を用いて、商品企画につながるアイデアを考える活動を行う。 商品コンセプトを考察し、具体的に商品企画書の各項目をまとめる。 商品企画書を基にプレゼンテーションを行い、評価、改善を行う。 実習に積極的に取り組む。	【知識・技能】 - 企業の事例を取り上げられている。 - マクロ分析、ミクロ分析の技術が身に付いている。 - 商品ライフサイクルおよびSTPについて理解している。 【思考・判断・表現】 - 市場調査から商品の企画に関する課題を発見する。 - ブレンスティングなどの技法を用いて、アイデアの創出が行えている。 - アイデア創出に当たり、主体的かつ協働的な取り組みを行っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 商品の企画について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、商品の企画に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 - プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。 - 実習に積極的に取り組んでいる。 - 商品の企画について理解している。	○	○	○	10
	単元4 期末考査(授業内・または、テスト期間中) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	3章 事業計画の立案 1 事業計画の概要 2 価格計画 3 流通計画 4 プロモーション計画 6 事業計画書の作成	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元5 3章 事業計画の立案 1 事業計画の概要 2 価格計画 3 流通計画 4 プロモーション計画 5 事業計画書の作成 【知識及び技能】 - 事業計画の目的に合わせて、一連の流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 - 価格の設定方法を理解している。 - 企業の事例を取り上げられている。 - 価格政策ごとに戦略に違いがあることに気付いている。 - 流通チャネルの種類と特徴から、流通計画について理解している。 - 企業におけるプロモーション活動の事例を取り上げ、それぞれの特徴を理解している。 - 科学的な根拠に基づいて事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を立案できている。 【学びに向かう力、人間性等】 - 事業計画の各項目について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、事業計画書を主体的かつ協働的に作成している。 - プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。 - 事業計画の立案について理解している。	商品開発と流通における事業計画について、その目的や手順について理解する。 競争環境や需要予測等に基づいた、価格の設定の考え方を理解する。 さまざまな価格政策について、企業における事例と関連付けて考察する。 流通チャネルの種類と特徴について理解する。 プロモーション計画について、企業における事例と関連付けて理解する。 事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を作成する。 作成した事業計画書を基にプレゼンテーションを行い、評価、改善を行う。	【知識・技能】 - 事業計画の目的に合わせて、一連の流れを理解している。 【思考・判断・表現】 - 価格の設定方法を理解している。 - 企業の事例を取り上げられている。 - 価格政策ごとに戦略に違いがあることに気付いている。 - 流通チャネルの種類と特徴から、流通計画について理解している。 - 企業におけるプロモーション活動の事例を取り上げ、それぞれの特徴を理解している。 - 科学的な根拠に基づいて事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を立案できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 事業計画の各項目について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、事業計画書を主体的かつ協働的に作成している。 - プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。 - 事業計画の立案について理解している。	○	○	○	12

2 学 期	単元6 3章 事業計画の立案 1 事業計画の概要 2 価格計画 3 流通計画 4 プロモーション計画 6 事業計画書の作成 【知識及び技能】 ・事業計画の目的に合わせて、一連の流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・価格の設定方法を理解している。 ・企業の事例を取り上げられている。 ・価格政策ごとに戦略に違いがあることに気付いている。 ・流通チャネルの種類と特徴から、流通計画について理解している。 ・企業におけるプロモーション活動の事例を取り上げ、それぞれの特徴を理解している。 ・科学的な根拠に基づいて事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を作成できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事業計画の各項目について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、事業計画書を主体的かつ協働的に作成している。 ・プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。 ・事業計画の立案について理解している。	商品開発と流通における事業計画について、その目的や手順について理解する。 競争環境や需要予測等に基づいた、価格の設定の考え方を理解する。 さまざまな価格政策について、企業における事例と関連付けて考察する。 流通チャネルの種類と特徴について理解する。 プロモーション計画について、企業における事例と関連付けて理解する。 事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を作成する。 作成した事業計画書を基にプレゼンテーションを行い、評価、改善を行う。	【知識・技能】 ・事業計画の目的に合わせて、一連の流れを理解している。 【思考・判断・表現】 ・価格の設定方法を理解している。 ・企業の事例を取り上げられている。 ・価格政策ごとに戦略に違いがあることに気付いている。 ・流通チャネルの種類と特徴から、流通計画について理解している。 ・企業におけるプロモーション活動の事例を取り上げ、それぞれの特徴を理解している。 ・科学的な根拠に基づいて事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を作成できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事業計画の各項目について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、事業計画書を主体的かつ協働的に作成している。 ・プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。 ・事業計画の立案について理解している。	○	○	○	6
	単元7 4章 商品の開発 1 商品仕様と詳細設計 2 プロトタイプ 3 商品とデザイン 実習 パッケージをデザインする 実習 ポスターをデザインする 4 ブランド 5 知的財産権の登録 【知識及び技能】 ・企業の事例を取り上げられている。 ・プロトタイプの種類と目的を理解している。 ・プロトタイプを用いたテストと評価により、課題を見つけ、改善する必要性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・市場調査から商品の企画に関する課題を発見する。 ・企業の事例を取り上げて、商品デザインの技法について分析できている。 ・パッケージについての考察が行えている。 ・パッケージデザインを作成できている。 ・コンピュータを用いて、ポスターデザインが行えている。 ・ブランドの機能、構成要素等を理解している。 ・知的財産権の内容や、手続き方法の違いを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・知的財産権の侵害について、科学的な根拠に基づいて、具体的な事例について分析、考察ができている。 ・商品の開発について理解している。	商品仕様と詳細設計について、企業における事例と関連付けて理解する。 プロトタイプの種類と目的について理解する。 プロトタイプを用いたテスト及び評価により、課題をあきらかにすることを理解する。 商品デザインの役割や要素、種類等について理解する。 商品デザインの技法について、具体的な事例と関連付けて分析する。 パッケージに必要な機能、要素等について考察し、パッケージデザインを行う。 コンピュータを用いて、ポスターのデザインを行う。 ブランドについて、機能、構成要素等を理解する。 知的財産権の内容、重要性について理解する。 偽ブランドや偽キャラクター商品等の知的財産権の侵害について、具体的な事例と関連付けて分析、考察する。	【知識・技能】 ・企業の事例を取り上げられている。 ・プロトタイプの種類と目的を理解している。 ・プロトタイプを用いたテストと評価により、課題を見つけ、改善する必要性を理解している。 【思考・判断・表現】 ・市場調査から商品の企画に関する課題を発見する。 ・企業の事例を取り上げて、商品デザインの技法について分析できている。 ・パッケージについての考察が行えている。 ・パッケージデザインを作成できている。 ・コンピュータを用いて、ポスターデザインが行えている。 ・ブランドの機能、構成要素等を理解している。 ・知的財産権の内容や、手続き方法の違いを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・知的財産権の侵害について、科学的な根拠に基づいて、具体的な事例について分析、考察ができている。 ・商品の開発について理解している。	○	○	○	12
	単元8 期末考査(授業内・または、テスト期間中) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	期末考査(授業内・または、テスト期間中)	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元9 5章 商品の販売 1 販売員活動 2 セールス・プロモーション 実習 商品の販売 【知識及び技能】 ・販売員活動におけるプロセス、役割等を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・企業の事例を取り上げ、顧客の購買心理に基づいたセールス・プロモーションが行われていることに気付いている。 ・流通とプロモーションについて、自ら学び、経済や消費者の動向を踏まえて、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・科学的な根拠に基づいて、実習計画を立案し、実施後に課題を見つけ、評価・改善している。 ・商品の販売について理解している。	販売員活動について、プロセス、役割等を理解する。 セールス・プロモーションについて理解し、企業における具体的な事例と関連付けて分類する。 実習に際して、流通とプロモーションに関する課題を発見する。 実習のための計画を立案して実施し、評価・改善を行う。	【知識・技能】 ・販売員活動におけるプロセス、役割等を理解している。 【思考・判断・表現】 ・企業の事例を取り上げ、顧客の購買心理に基づいたセールス・プロモーションが行われていることに気付いている。 ・流通とプロモーションについて、自ら学び、経済や消費者の動向を踏まえて、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・科学的な根拠に基づいて、実習計画を立案し、実施後に課題を見つけ、評価・改善している。 ・商品の販売について理解している。	○	○	○	8

3 学 期	単元10 6章 商品開発と流通に関わる新たな展開 1 商品開発の新たな展開 2 流通の新たな展開 3 感覚を活かした商品開発・流通 【知識及び技能】 ・企業の事例を取り上げて、デザイン思考の商品開発について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報システムの変化が効果的・効率的な流通に結びついていることを理解している。 ・企業の事例を取り上げて考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・商品開発と流通に関わる新たな展開について理解している。	顧客ニーズの多様化から、デザイン思考について企業における具体的な事例と関連付けて理解する。流通の新たな展開として情報システムの変化が流通に影響を及ぼしていることを理解する。感覚を活かしたプロモーション活動等を、企業における事例と関連付けて考察する。	【知識・技能】 ・企業の事例を取り上げて、デザイン思考の商品開発について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・情報システムの変化が効果的・効率的な流通に結びついていることを理解している。 ・企業の事例を取り上げて考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・商品開発と流通に関わる新たな展開について理解している。	○	○	○	6	
	単元11 学年末考査(授業内テスト) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1	
合計								70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 商業 科目 B_マーケティング

教科：商業 科目： B_マーケティング 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 7 実教 商業718 マーケティング ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	マーケティングに関する基本的な概念や実務的な知識を体系的に理解し、関連する技術（市場分析、製品企画、プロモーション戦略など）を習得する。	マーケティングに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて問題を解決する能力を養う。創造的なアイデアや戦略を生み出し、それを論理的に表現する力を育む。	ビジネス環境においてマーケティングを効果的に活用する力を高め、マーケティングの課題に対して主体的かつ協働的に取り組む態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	単元1 1章 マーケティングの概要 【知識及び技能】 マーケティングの基本的な概念と歴史、現代市場における適応方法を理解し、SWOT分析や市場環境分析などの技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 マーケティング戦略を論理的に分析し、創造的なアイデアを提案し、他者にわかりやすく表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 マーケティングの課題に対して積極的に学び、グループ活動やディスカッションを通じて協力しながら学習に取り組む姿勢を育む。	(1)マーケティングの歴史と発展 ①マーケティングとは ②マーケティングの歴史的発展 (2)現代の市場とマーケティング ①優れたマーケティングの条件 ②現代市場に創造的に適応する (3)マーケティングの環境の分析 ①SWOT分析 ②内部環境分析 ③外部環境分析 (4)マーケティング・マネジメント ①重要性 ②プロセス	【知識・技能】 マーケティングの基本概念、歴史、市場分析手法（SWOT分析など）を理解し、マーケティング戦略に必要な知識を習得する。 【思考・判断・表現】 マーケティング課題を論理的に分析し、創造的に解決策を提案できる力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 マーケティングの知識を積極的に学び、グループ活動を通じて協力的に取り組む姿勢を育む。	○	○	○	6
	単元2 2章 消費者行動の理解 【知識及び技能】 消費者行動の基本的な概念、購買意思決定の過程、消費者の心理と行動の関係を理解し、消費者行動に影響を与える要因を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 消費者の意思決定過程を分析し、購買行動における心理的な要因を論理的に考察し、具体的な事例を通じて表現する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 消費者行動を理解し、実生活における消費者の心理や行動に積極的に関心を持ち、学びを深める姿勢を育む。	(1)消費者の心理と行動の関係 ①問題解決のための購買 ②消費者の心理と購買意思決定 (2)購買意思決定過程 ①問題認識 ②情報探索 ③代替品評価 ④商品選択 ⑤購買後行動 (3)消費者行動に影響を与える要因 ①動機付け ②態度 ③関与 ④消費者間の影響	【知識・技能】 消費者行動に関する基本的な概念、購買意思決定の過程、消費者心理の理論を正確に理解し、適切に説明・応用できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 消費者行動に影響を与える要因を分析し、実際の事例に基づいてその影響を論理的に判断し、明確に表現できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 消費者行動について積極的に学び、授業やグループ活動に参加し、自己の理解を深めるために努力し、他者と協力して学習を進める姿勢を評価する。	○	○	○	5
	単元3 中間考査(授業内テスト) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1

学期	単元4 3章 市場調査 【知識及び技能】 市場調査の基本的な概念や手順、調査の種類（定性調査・定量調査）について理解し、仮説検証の方法や調査対象の選定方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 市場調査の手順に基づいて、仮説を立て、収集したデータを分析し、調査結果を論理的かつ適切に表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 市場調査に関する学びを積極的に深め、調査活動を通じて他者と協力し、自己の学びを広げる姿勢を育む。	(1)市場調査の概要 ①市場調査とは ②市場調査の種類 (2)市場調査の手順 (3)仮説検証の手順 ①予備調査 ②本調査 ③調査対象の選定 (4)実態調査の方法 ①定性調査とは ②定性調査の種類 ③定量調査とは ④定量調査の種類	【知識・技能】 市場調査の基本的な概念や手順、調査方法（定性調査・定量調査）の理解度と、それらを実務に適用する技能を評価する。 【思考・判断・表現】 仮説検証の手順を踏まえた調査計画や実施、データ分析の過程において、論理的に判断し、調査結果をわかりやすく表現する能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場調査に積極的に取り組み、グループワークやディスカッションを通じて主体的に学びを深め、協働して問題解決に向かう態度を評価する。	○	○	○	9
	単元5 4章 S T P 【知識及び技能】 セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング（STP）の基本概念を理解し、それぞれの手法や変数、条件を習得する。ポジショニングの作成方法と創造的な方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 市場のセグメントを適切に選定し、ターゲット市場を分析・判断して、適切なポジショニング戦略を立案・表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 STP戦略の実務への適用に積極的に取り組み、グループでの協働学習やディスカッションを通じて他者と意見交換しながら学びを深める姿勢を育む。	(1)セグメンテーション ①概要 ②するための変数 ③有効になる条件 (2)ターゲティング ①概要 ②意義と注意点 (3)ポジショニング ①概要 ②作成 ③創造的なポジショニング	【知識・技能】 STPの基本的な概念（セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング）の理解度と、実際のマーケティング活動における技術の応用能力を評価する。 【思考・判断・表現】 セグメンテーションやターゲティングを基に、市場分析やポジショニング戦略を論理的に分析し、適切に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 STP戦略に関する学びに積極的に取り組み、ディスカッションやグループワークを通じて協力的に学び、主体的に取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	5
	単元6 期末考査(授業内テスト) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元7 5章 製品政策 【知識及び技能】 製品政策の基本的な概念や目的、製品分類の方法を理解し、新製品開発のプロセスや製品ミックスについて学ぶ。販売計画や生産計画の立案方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 市場や消費者のニーズに基づいて、製品政策や新製品開発戦略を分析し、売上予測や生産計画の作成方法を論理的に判断・表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 製品政策に関する学びを積極的に深め、他者との協力を通じて新製品開発や販売計画の立案に主体的に取り組む姿勢を育む。	(1)製品政策の概要 ①製品政策の目的 ②便益の束 ③マーケティングマイオピアを避ける ④製品の分類 (2)新製品開発 ①製品ミックス ②新製品開発の方針 ③新製品開発のプロセス ④販売計画と生産計画 (3)販売計画と生産計画 ①販売計画の立案 ②販売予測の必要性と考え方 ③市場需要を測定する方法 ④売上高を予測する方法 ⑤生産計画の立案 (4)製品政策の動向 ①ブランド ②共同開発	【知識・技能】 製品政策の目的や新製品開発プロセス、販売計画や生産計画に関する基本的な知識を理解し、実務に適用できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 市場分析を基に製品政策を適切に策定し、売上予測や生産計画を論理的に判断し、明確に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 製品政策に関する学習に積極的に取り組み、グループワークやディスカッションを通じて他者と協力し、学びを深める姿勢を評価する。	○	○	○	7
	単元8 6章 価格政策 【知識及び技能】 価格政策の基本概念、価格設定の種類や方法（コスト、競争、消費者心理、製品ミックスを考慮した設定）を理解し、価格設定に関する諸制度について習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 価格設定方法を実際の市場環境や消費者心理に基づいて分析し、適切な価格政策を立案・提案できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 価格政策に関する知識を積極的に学び、グループワークやディスカッションを通じて協力しながら価格設定戦略を実践的に学ぶ姿勢を育む。	(1)価格政策の概要 ①価格政策の目的 ②価格の種類 ③消費者にとっての価格 (2)価格の設定方法 ①コストに基づく価格設定 ②競争に基づく価格設定 ③消費者心理に基づく価格設定 ④新製品導入時の価格設定 ⑤製品ミックスを考慮した価格設定 ⑥価格設定に関する諸制度 (3)価格政策の動向 ①価格設定の新展開 ②キャッシュレス決済の新展開	【知識・技能】 価格政策の目的や価格設定方法について理解し、異なる価格設定アプローチを実務に応じて適用できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 市場動向や消費者心理を考慮し、具体的な状況に基づいた価格設定戦略を適切に分析・判断し、論理的に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 価格政策に関する学びに積極的に取り組み、実際のケーススタディやディスカッションに参加し、グループでの協力を通じて学習を深める姿勢を評価する。	○	○	○	7
	単元9 中間考査(授業内テスト) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1

2 学 期	単元10 7章 チャネル政策 【知識及び技能】 チャネル政策の基本概念（直接流通、間接流通）、流通の機能について理解し、チャネルの選択や管理方法を習得する。また、ICTの進展やインターネット通販など、チャネル政策の最新動向を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 チャネルの長さや取引回数、選択と管理において、実際のビジネス環境を考慮して適切な戦略を立案・提案する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 チャネル政策に関する学びを深め、ICTやインターネット通販などの新しい流通手段に対して積極的に関心を持ち、学びを広げる姿勢を育む。	(1)チャネル政策の概要 ①直接流通と間接流通 ②流通の機能 (2)チャネルの選択と管理 ①チャネルの長さや取引回数 ②チャネルの選択 ③チャネルの管理 (3)チャネル政策の動向 ①ICTの進展 ②製販連携の進展 ③インターネット通販の進展	【知識・技能】 チャネル政策に関する基本的な知識（流通の機能や種類）を理解し、実務において適切にチャネルの選択や管理方法を適用できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 市場や商品に最適な流通チャネルを選択し、管理するための戦略を分析し、論理的に判断・表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 チャネル政策の学習に積極的に取り組み、インターネット通販やICTの進展に関心を持ち、実際のビジネスでの応用を考えながら学びを深める姿勢を評価する。	○	○	○	7		
	単元11 8章 プロモーション政策 【知識及び技能】 プロモーション政策の基本概念（広告、広報、セールス・プロモーションなど）を理解し、それぞれのプロモーション方法に対する消費者の反応を把握する。また、技術やメディアの変化に伴う新展開を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまなプロモーション手法の効果进行分析し、消費者の反応を予測したうえで、効果的なプロモーション戦略を立案・提案できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 プロモーション政策に関する知識を積極的に学び、最新の技術やメディアの変化に対応した新たな戦略を考える姿勢を育む。	(1)プロモーション政策の概要 ①具体的なプロモーション ②プロモーションへの消費者の反応 (2)プロモーションの種類 ①広告 ②広報 ③セールス・プロモーション ④販売員活動 ⑤統合型マーケティング・コミュニケーション (3)プロモーション政策の動向 ①メディアの変化による新展開 ②技術の進化による新展開 ③プロモーションに関する規制と倫理	【知識・技能】 プロモーション政策の基本概念（広告、広報、セールス・プロモーション）について理解し、実務において適切にプロモーション戦略を策定できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 異なるプロモーション手法を比較・分析し、それぞれの効果を論理的に判断し、適切な提案を行う能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 プロモーション政策に関する学習を積極的に深め、最新の技術やメディアの変化について関心を持ち、自らの学びに反映させる態度を評価する。	○	○	○	7		
3 学 期	単元12 期末考査(授業内テスト) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1		
	単元13 9章 マーケティングのひろがり 【知識及び技能】 さまざまなマーケティング戦略（製品ライフサイクル別、市場地位別）、サービスマーケティング、小売マーケティング、観光地マーケティング、グローバルマーケティング、ソーシャルマーケティングの基本概念を理解し、それぞれの戦略や特性を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 マーケティング戦略や手法を分析し、具体的な市場や状況に応じた戦略を立案し、適切に表現・提案する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 マーケティングの多様な領域について積極的に学び、実際の市場や社会における課題に対して創造的に取り組む姿勢を育む。	(1)さまざまなマーケティング戦略 ①製品ライフサイクル別の戦略 ②市場地位別の戦略 (2)サービス・マーケティング ①サービスの定義と特性 ②サービス・エンカウンター (3)小売マーケティング ①出店 ②仕入計画 ③陳列 ④在庫管理 (4)観光地マーケティング ①観光地マーケティングの概要 ②観光地マーケティングの課題 (5)グローバル・マーケティング ①文化と消費者行動 ②海外市場における戦略 (6)ソーシャル・マーケティング ①非営利組織のマーケティング ②社会的責任のマーケティング	【知識・技能】 各マーケティング戦略（製品ライフサイクル別、市場地位別など）や手法について理解し、適切に適用できる知識・技能を評価する。 【思考・判断・表現】 マーケティング戦略を状況に合わせて分析し、実際のケースに基づいた適切な戦略を提案し、論理的に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 マーケティングに関する学びを積極的に深め、さまざまな分野（小売、観光、グローバル、ソーシャルなど）における戦略に対して主体的に学び、グループ活動などを通じて協力する姿勢を評価する。	○	○	○	12		
	単元14 学年末考査(授業内テスト) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1		
								合計	70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 商業 科目 B_ソフトウェア活用

教科：商業 科 目： B_ソフトウェア活用 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 7実教商業736 ソフトウェア活用 ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている	企業活動におけるソフトウェアの活用を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用主体的かつ協働的に取り組もうとしている

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元1 1章 企業活動とソフトウェアの活用 【知識及び技能】 ソフトウェアの意義と重要性について考え、理解することができたか 【思考力、判断力、表現力等】 ソフトウェアの意義や役割を考え、具体的な利用例を理解することができたか 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	身近な事例を基にビジネスにおけるソフトウェアの活用を考える学習活動により、ソフトウェアの意義と重要性を理解する ソフトウェアの活用を考えた学習活動により、ソフトウェアの操作を理解し活用する ソフトウェアの意義と重要性を理解し、創造的な視点で取り組み、協同的な活動を行う	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	5
単元2 2 節 ビジネスにおけるソフトウェアの進化 【知識及び技能】 ソフトウェアの進化が、社会の変化に与える影響を考える学習活動により、関連する知識を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 Society5.0が実現しようとしている社会について考察し、ソフトウェアの活用例と目的を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	身近な事例を基にビジネスにおけるソフトウェアの活用を考える学習活動により、ソフトウェアの意義と重要性を理解する IoT, AI, BDについて理解するとともに、関連するソフトウェア技術の活用と社会課題について、その関連性を考察しようとしている ソフトウェアの意義と社会課題について、様々な社会活動と関連付けてみだせる ソフトウェアとビジネスや社会課題との関連について自ら学び、適切に活用し、主体的かつ協働的に取り組もうとしている	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	5
単元3 2 章 情報通信ネットワークの活用 情報通信ネットワークの導入と運用 【知識及び技能】 ネットワーク機器の機能や情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータやプリンタをLANやインターネットに接続する基礎的な方法や、システム障害に対処するための基本的な技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	身近な事例を基にビジネスにおけるソフトウェアの活用を考える学習活動により、ソフトウェアの意義と重要性を理解する ネットワーク機器の機能や情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について理解する コンピュータやプリンタを適切にLANやインターネットに接続するための基礎的な方法等を理解し考察する 情報通信ネットワークのシステム障害に対処するための基本的な技術について理解している	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	1

学 期	単元4 2章 情報通信ネットワークの活用 情報通信ネットワークの導入と運用 【知識及び技能】 ネットワーク機器の機能や情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータやプリンタをLANやインターネットに接続する基礎的な方法や、システム障害に対処するための基本的な技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	身近な事例を基にビジネスにおけるソフトウェアの活用を考える学習活動により、ソフトウェアの意義と重要性を理解する ネットワーク機器の機能や情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について理解する コンピュータやプリンタを適切にLANやインターネットに接続するための基礎的な方法等を理解し考察する 情報通信ネットワークのシステム障害に対処するための基本的な技術について理解している	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	8
	単元5 2節 情報資産の保護 【知識及び技能】 ソフトウェアの脆弱性への対応や、無停電電源装置の活用などのリスクを適切に管理する方法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ファイルとフォルダのアクセス権の設定や、暗号化の種類、バックアップなどについての基本的な技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	情報資産を保護するため、ソフトウェアの脆弱性への対応や、無停電電源装置の活用などのリスクを適切に管理する方法について理解する 情報資産を保護するため、ソフトウェアの脆弱性への対応や、無停電電源装置の活用などのリスクを適切に管理する方法について理解する ファイルとフォルダのアクセス権の設定や、暗号化の種類、バックアップなどについての基本的な技術について理解している ファイルとフォルダのアクセス権の設定や、暗号化の種類、バックアップなどについての基本的な技術について理解している	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	5
	単元6 3章 表計算ソフトウェアの活用 【知識及び技能】 表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 様々な集計や分析方法、集計した情報から、分析結果を適切に表現する能力を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析 表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解する 様々な方法で分析する能力を身に付けるとともに、分析結果を適切に表現する 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	1
	単元7 2節 表計算ソフトウェアを用いたオペレーションズ・リサーチ 【知識及び技能】 表計算ソフトウェアを通して、オペレーションズ・リサーチの基礎を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて適切な手法を活用する技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	表計算ソフトウェアを通して、オペレーションズ・リサーチの基礎について理解する 目的に応じて適切な手法を活用する技術を身に付ける 適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	7
2 学 年	単元8 3節 手続きの自動化 【知識及び技能】 マクロの記録機能を用いて、手続きの自動化の考え方を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 手続きの自動化の考え方を理解し、基本的な技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	マクロの記録機能を用いた、手続きの自動化について理解する 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	7
	単元9 4章 データベースソフトウェアの活用 【知識及び技能】 1節 ビジネスとデータベースを活用する 【思考力、判断力、表現力等】 データベースソフトウェアの活用し効果的な運用を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	データベースの特徴や基本的な機能を理解する データベースの特徴や基本的な機能を理解し活用できているか データベースの特徴や基本的な機能を理解し考察できたか 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	1

3 学 期	単元10 データベースの作成と操作する 【知識及び技能】 データベースの作成と操作技術を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 データベースの作成と操作技術に関する考察をし表現する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	データベースソフトウェアを活用する データベースソフトウェアを活用した上で、操作できたか データベースソフトウェアを活用した考察をし表現できたか 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	6
	単元11 3節 手続きの自動化 【知識及び技能】 データベースの構造を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 表を正規化するための手順を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	フォームを用い、手続きを登録する方法を理解する 表を正規化するための手順を理解する データベースの表やデータ構造など基本的な知識を理解する 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	6
	単元12 業務処理用ソフトウェアの活用 1節 グループウェアの活用 【知識及び技能】 販売管理ソフトウェアの活用ができたか 【思考力、判断力、表現力等】 3節 給与計算ソフトウェアの活用ができたか 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	グループウェアを活用することの利点と、グループウェアを活用して効率的に業務を行う方法について理解する 販売管理ソフトウェアを活用することの利点と、販売管理ソフトウェアを活用して効率的に業務を行う方法について理解する 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	4
	単元13 6章 情報システムの開発 1節 システム開発の基礎 【知識及び技能】 情報システムの開発 システム開発の基礎を理解できたか 【思考力、判断力、表現力等】 情報システムの開発 システム開発の基礎を理解できたか 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	情報システムの開発に関する基礎的な知識、技術について実務に即して理解する 表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアによる情報システムの開発と関連付けて理解を深める 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	6
	単元14 2節 アルゴリズムの基礎 【知識及び技能】 アルゴリズムの基礎を理解できたか 【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムの基礎を理解できたか 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	情報システムの開発の中でのプログラミングにおいて、コンピュータに指示を出すための手順を理解する アルゴリズムについての基礎的な技術や、プログラミングに必要な関連する知識、技術を身に付ける 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	1
	単元15 3節 情報システムの開発演習 【知識及び技能】 情報システムの開発演習を実践できたか 【思考力、判断力、表現力等】 情報システムの開発演習を実践できたか 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアのプログラミング機能を利用する 簡易な情報システムの開発を通して、企業活動の改善を科学的な根拠に基づいて、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身に付ける 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	4
	単元16 3節 情報システムの開発演習 【知識及び技能】 情報システムの開発演習を実践できたか 【思考力、判断力、表現力等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアのプログラミング機能を利用する 簡易な情報システムの開発を通して、企業活動の改善を科学的な根拠に基づいて、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身に付ける 主体的かつ協働的に取り組むことができたか	【知識・技能】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	○	○	○	3
							合計
							70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 商業 科目 B_ビジネス文書Ⅰ

教 科： 商業 科 目： B_ビジネス文書Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
タッチタイピングを習得し、正確に入力することができる。 企業活動においてワープロソフトを活用して、情報を適切に処理することができる。	効率よく業務を遂行するための創意・工夫を見出だすことができる。 企業活動において、適切な書類の作成をするよう思考し、判断することができる。	検定取得など目標を明確に持って、取り組むことができる。 与えられた課題に対して、自ら学ぼうとし、努力することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1 ワープロソフトの基本 【知識及び技能】 タッチタイピングのホームポジションを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 タッチタイピングを習得しようと意欲をもって取り組む。	タッチメソッドの基本 ・ホームポジションを習得する ・正確にキータッチする ワープロソフトの基本 ・ワープロソフトの基本設定 ・文字の入力 ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定	【知識・技能】 タッチタイピングのホームポジションを理解することができる。 【思考・判断・表現】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 タッチタイピングを習得しようと意欲をもって取り組むことができる。	○	○	○	6
	単元2 ワープロソフトの基本 【知識及び技能】 タッチタイピングのホームポジションを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 タッチタイピングを習得しようと意欲をもって取り組む。	タッチメソッドの基本 ・タッチメソッドの習得 ・正確にキータッチする ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定	【知識・技能】 タイピングを正確にタッチすることができる。 ワープロソフトの応用機能を使うことができる。 【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	6
	単元3 ワープロソフトの基本 【知識及び技能】 タッチタイピングを習得する。 ワープロソフトの機能を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 検定合格に向け意欲をもって取り組む。	タッチメソッドの基本 ・タッチメソッドの習得 ・正確にキータッチする ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定 検定問題の取組み ・関連知識の習得 ・時間を意識したタイピング ・問題に即した文書作成技術	【知識・技能】 タイピングを正確にタッチすることができる。 ワープロソフトの応用機能を使うことができる。 【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	6
	単元4 ワープロソフトの基本 【知識及び技能】 タッチタイピングを習得する。 ワープロソフトの機能を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 検定合格に向け意欲をもって取り組む。	タッチメソッドの基本 ・タッチメソッドの習得 ・正確にキータッチする ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定 検定問題の取組み ・関連知識の習得 ・時間を意識したタイピング ・問題に即した文書作成技術	【知識・技能】 タイピングを正確にタッチすることができる。 ワープロソフトの応用機能を使うことができる。 【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	6

2 学 期	単元5 ワープロソフトの基本 【知識及び技能】 タッチタイピングを習得する。 ワープロソフトの機能を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 検定合格に向け意欲をもって取り組む。	タッチメソッドの基本 ・タッチメソッドの習得 ・正確にキータッチする ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定 検定問題の取組み ・関連知識の習得 ・時間を意識したタイピング ・問題に即した文書作成技術	【知識・技能】 タイピングを正確にタッチすることができる。 ワープロソフトの応用機能を使うことができる。 【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	6
	単元6 ワープロソフトの基本 【知識及び技能】 タッチタイピングを習得する。 ワープロソフトの機能を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 検定合格に向け意欲をもって取り組む。	タッチメソッドの基本 ・タッチメソッドの習得 ・正確にキータッチする ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定 検定問題の取組み ・関連知識の習得 ・時間を意識したタイピング ・問題に即した文書作成技術	【知識・技能】 タイピングを正確にタッチすることができる。 ワープロソフトの応用機能を使うことができる。 【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	8
	単元7 ワープロソフトの基本 【知識及び技能】 タッチタイピングを習得する。 ワープロソフトの機能を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 検定合格に向け意欲をもって取り組む。	タッチメソッドの基本 ・タッチメソッドの習得 ・正確にキータッチする ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定 検定問題の取組み ・関連知識の習得 ・時間を意識したタイピング ・問題に即した文書作成技術	【知識・技能】 タイピングを正確にタッチすることができる。 ワープロソフトの応用機能を使うことができる。 【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	8
	単元8 企業活動における文書作成 【知識及び技能】 社外文書・社外文書のそれぞれの目的や違いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社外文書・社外文書のそれぞれの目的や違いを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 検定合格に向け意欲をもって取り組む。	各種文書の作成 ・社内文書の種類と違い ・社外文書の種類と違い ・取引文書の種類と作成 ・メールの文書 検定問題の取組み ・関連知識の習得 ・時間を意識したタイピング ・問題に即した文書作成技術	【知識・技能】 社外文書・社外文書のそれぞれの目的や違いを理解することができる。 【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	6
3 学 期	単元9 企業活動における文書作成 【知識及び技能】 各種文書の用途や違いを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 文書の校正作業を自ら判断し作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつ	各種文書の作成 文書の構成 文書の校正作業	【知識・技能】 各種文書の用途や違いを理解することができる。 【思考・判断・表現】 文書の校正作業を自ら判断し作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつことができる。	○	○	○	6
	単元10 企業活動における文書作成 【知識及び技能】 各種文書の用途や違いを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 文書の校正作業を自ら判断し作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつ	各種文書の作成 文書の構成 文書の校正作業	【知識・技能】 各種文書の用途や違いを理解することができる。 【思考・判断・表現】 文書の校正作業を自ら判断し作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつことができる。	○	○	○	6
	単元11 企業活動における文書作成 【知識及び技能】 各種文書の用途や違いを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 文書の校正作業を自ら判断し作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつ	案内文の作成 企画書の作成 文書の校正作業	【知識・技能】 各種文書の用途や違いを理解することができる。 【思考・判断・表現】 文書の校正作業を自ら判断し作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつことができる。	○	○	○	6
							合計
							70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」 ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】 さまざまな分野における情報収集や分析方法を理解し、探究活動に必要な知識と技能を活用する能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 探究テーマに対して批判的かつ創造的に思考し、得られた情報を論理的に整理・分析し、明確に表現する力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 自分の興味や社会課題に対して積極的に探究し、他者と協力して問題解決に取り組む姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・客観性の高いデータや根拠となる事実を、目的に応じて適切に収集している。 ・多様な意見等から、自分の考えや行動を振り返り、見つめ直している。	・探究テーマを焦点化したり、広い視野で捉えたりするために必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしている。 ・多面的・多角的に考えて、問いに対する答えを導こうとすることができる。	・他者と協働しながら探究活動に積極的に取り組もうとしている。 ・自分の価値観や判断基準を高めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1 ガイダンス 【知識及び技能】 授業の目的が理解でき、それに向かつて必要な情報を収集することができる 【思考力、判断力、表現力等】 自己の在り方生き方を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の価値観や判断基準を高めようとしている。	1年間の流れについて。	【知識・技能】 授業の目的が理解でき、それに向かつて必要な情報を収集することができる 【思考・判断・表現】 自己の在り方生き方を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の価値観や判断基準を高めようとしている。	○	○	○	3
	単元2 探究スキルの習得 【知識及び技能】 他者との関わり方について学び、よりよい人間関係を構築することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 他者の立場に寄り添い、相手の良い面を探す能力を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の価値観や判断基準を高めようとしている。	探究のサイクルについて学ぶ。	【知識・技能】 他者との関わり方について学び、よりよい人間関係を構築することができる。 【思考・判断・表現】 他者の立場に寄り添い、相手の良い面を探す能力を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の価値観や判断基準を高めようとしている。	○	○	○	6
2 学 期	単元3 商業的探究 【知識及び技能】 多様な意見等から、自分の考えや行動を振り返り、見つめ直している。 【思考力、判断力、表現力等】 他者の立場に寄り添い、相手の良い面を探す能力を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働しながら探究活動に積極的に取り組もうとしている。	校外学習に行き、商業的観点から探究テーマを考える。 グループごとに考えたテーマから問いを作り仮説を立てる。 問いについて探究しポスターにまとめ発表する。	【知識・技能】 多様な意見等から、自分の考えや行動を振り返り、見つめ直している。 【思考・判断・表現】 他者の立場に寄り添い、相手の良い面を探す能力を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者と協働しながら探究活動に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	単元4 キャリア探究 【知識及び技能】 多様な意見等から、自分の考えや行動を振り返り、見つめ直している。 【思考力、判断力、表現力等】 他者の立場に寄り添い、相手の良い面を探す能力を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働しながら探究活動に積極的に取り組もうとしている。	外部講師を呼びキャリアについて考える。 キャリアについて調べまとめる。	【知識・技能】 多様な意見等から、自分の考えや行動を振り返り、見つめ直している。 【思考・判断・表現】 他者の立場に寄り添い、相手の良い面を探す能力を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者と協働しながら探究活動に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10

3 学 期	単元5 総合探究 【知識及び技能】 多様な文化や価値観を理解しながら、会話をすることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 自らの考えや意見を多面的・多角的にとらえ、焦点化することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバルな視点で、よりよい生き方を主体的に選択しようとしている。	グループ別に沖縄の文化・歴史について調べる。 調査内容をまとめ発表する。 1年間の探究の授業について振り返る。	【知識・技能】 多様な文化や価値観を理解しながら、会話をすることができる。 【思考・判断・表現】 自らの考えや意見を多面的・多角的にとらえ、焦点化することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバルな視点で、よりよい生き方を主体的に選択しようとしている。	○	○	○	6
	合計						
35							